

森林整備保全事業施工管理基準

令和元年年 7 月

奈良 県

森林整備保全事業施工管理基準

この森林整備保全事業施工管理基準(以下、「管理基準」とする。)は、森林整備保全事業工事標準仕様書(案)、第1編第1節「1-1-1-1 適用」に規定する治山工事、林道工事及びその他のこれに類する工事、「1-1-1-28 施工管理」に係る施工管理及び規格値の基準を定めたものである。

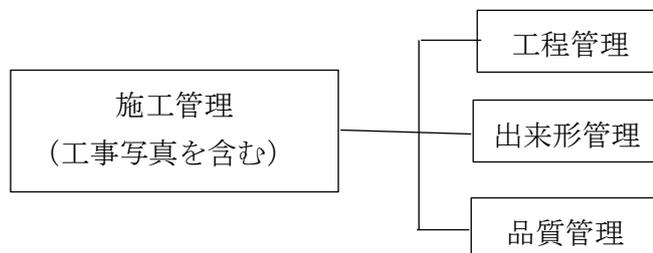
1. 目的

この管理基準は、治山工事及び林道工事等の施工について、契約図書に定められた工期、工事目的物の出来形及び品質規格の確保を図ることを目的とする。

2. 適用

この管理基準は、奈良県が発注する治山工事及び林道工事等について適用する。ただし、設計図書に明示されていない仮設構造物等は除くものとする。また、工事の種類、規模、施工条件等により、この管理基準によりがたい場合、または、基準、規格値が定められていない工種については、監督職員と協議の上、施工管理を行うものとする。

3. 構成



4. 管理の実施

- (1) 受注者は、工事施工前に、施工管理計画及び施工管理担当者を定めなければならない。
- (2) 施工管理担当者は、当該工事の施工内容を把握し、適切な施工管理を行わなければならない。
- (3) 受注者は、測定(試験)等を工事の施工と並行して、管理の目的が達せられるよう速やかに実施しなければならない。
- (4) 受注者は、測定(試験)等の結果をその都度管理図表等に記録し、適切な管理のもとに保管し、監督職員の請求に対し速やかに提示するとともに、工事完成時に提出しなければならない。

5. 管理項目及び方法

(1) 工程管理

受注者は、工事内容に応じて適切な工程管理(ネットワーク、バーチャート方式 など)を行うものとする。ただし、応急処理又は維持工事等の当初工事計画が困難な工事内容については、省略できるものとする。

(2) 出来形管理

受注者は、出来形を出来形管理基準に定める測定項目及び測定基準により実測し、設計値と実測値を対比して記録した出来形管理図表を作成し管理するものとする。

なお、測定基準において測定箇所数「〇〇につき1ヶ所」となっている項目については、小数点以下を切り上げた箇所数測定するものとする。

(3) 品質管理

受注者は、品質を品質管理基準に定める試験項目、試験方法及び試験基準により管理するものとする。

この品質管理基準の適用は、試験区分で「必須」となっている試験項目は、全面的に実施するものとする。

また、試験区分で「その他」となっている試験項目は、特記仕様書で指定するものを実施するものとする。

6. 規格値

受注者は、出来形管理基準及び品質管理基準により測定した各実測（試験・検査・計測）値は、すべて規格値を満足しなければならない。

7. 工事写真

受注者は、工事写真を施工管理の手段として、各工事の施工段階及び工事完成後明視できない箇所の施工状況、出来形寸法、品質管理状況、工事中の災害写真等を工事写真管理基準により撮影し、適切な管理のもとに保管し、監督職員の 請求に対し速やかに提示するとともに、工事完成時に提出しなければならない。

8. 施工箇所が点在する工事について

施工箇所が点在する工事については、施工箇所毎に測定（試験）基準を設定するものとする。なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議しなければならない。

出来形管理基準及び規格値

【第3編 森林土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第2章 土工							
第1節 適用	3-2-1-6		掘削工			I-1	
	3-2-1-7		盛土工			I-2	
	3-2-1-8		盛土補強工	補強土（テールアルメ）壁工法			I-3
				多数アンカー式補強土工法			I-3
				ジオテキスタイルを用いた補強土工法			I-3
	3-2-1-9		法面整形工	盛土部			I-3
	3-2-1-10		堤防天端工				I-3
	3-2-1-11		残土処理工				I-4
	3-2-1-12		路体盛土工				I-5
	3-2-1-13		路床盛土工				I-5
	3-2-1-14		作業土工（床掘り・埋戻し）		3-2-1-6掘削工、3-2-1-7盛土工		I-1～2
第3章 無筋・鉄筋コンクリート							
第6節 鉄筋工	3-3-6-4		組立			I-6	

【第3編 森林土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第4章 一般施工						
第3節 共通の工種	3-4-3-4		矢板工（指定仮設・任意仮設は除く）	鋼矢板		I-7
				軽量鋼矢板		I-7
				コンクリート矢板		I-7
				広幅鋼矢板		I-7
				可とう鋼矢板		I-7
	3-4-3-5		縁石工	縁石・アスカープ		I-7
	3-4-3-6		小型標識工			I-7
	3-4-3-7	1	路側防護柵工	ガードレール		I-8
				ガードケーブル		I-8
	3-4-3-8		区画線工			I-8
	3-4-3-9		道路付属物工	視線誘導標		I-9
				距離標		I-9
	3-4-3-10	1	プレテンション桁製作工（購入工）	けた橋		I-9
		2	プレテンション桁製作工（購入工）	スラブ桁		I-9
	3-4-3-11	1	ホーステンション桁製作工			I-10
		2	プレキャストセグメント桁製作工（購入工）			I-10
	3-4-3-12		プレキャストセグメント主桁組立工			I-10
	3-4-3-13		PCホースパイプ製作工			I-11
	3-4-3-14	1	PC箱桁製作工			I-11
		2	PC押し出し箱桁製作工			I-12
	3-4-3-15		根固めブロック工			I-12
	3-4-3-16		沈床工			I-13
	3-4-3-17		捨石工			I-13
	3-4-3-19		階段工			I-13
	3-4-3-21	1	伸縮装置工	ゴムジョイント		I-13
		2	伸縮装置工	鋼製フィンガージョイント		I-14
	3-4-3-23	1	環境配慮型護岸工	巨石張り、巨石積み		I-14
		2	環境配慮型護岸工	かごマット		I-14
	3-4-3-24	1	羽口工	じゃかご		I-15
		2	羽口工	ふとんかご、かご枠		I-15
	3-4-3-25		プレキャストカルバート工	プレキャストボックス工		I-15
				プレキャストパイプ工		I-15
3-4-3-26	1	側溝工	プレキャストU型側溝		I-16	
			L型側溝工		I-16	
			自由勾配側溝		I-16	
			管渠		I-16	
	2	側溝工	場所打水路工		I-16	
3	側溝工	暗渠工		I-16		
3-4-3-27		集水樹工			I-17	
3-4-3-28		現場塗装工			I-17	

【第3編 森林土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁		
第4章 一般施工								
第4節 基礎工	3-4-4-1		一般事項	切込砂利		I-18		
				砕石基礎工				
				割ぐり石基礎工				
				均しコンクリート				
	3-4-4-3	1	基礎工（護岸）	現場打		I-18		
				プレキャスト		I-19		
	3-4-4-4	1	既製杭工	既製コンクリート杭		I-19		
				鋼管杭				
				H鋼杭				
		2	既製杭工	鋼管ソイルメント杭		I-19		
	3-4-4-5		場所打杭工			I-19		
	3-4-4-6		深礎工			I-20		
3-4-4-7		オープンケーソン基礎工			I-20			
3-4-4-8		ニューマチックケーソン基礎工			I-20			
3-4-4-9		鋼管矢板基礎工			I-21			
第5節 石・ブロック積(張)工		1	コンクリートブロック工	コンクリートブロック積		I-21		
				コンクリートブロック張り				
	3-4-5-3	2	コンクリートブロック工	連節ブロック張り		I-21		
				3	コンクリートブロック工	天端保護ブロック		I-22
	3-4-5-4		緑化ブロック工			I-22		
3-4-5-5		石積(張)工			I-22			
第6節 一般舗装工	3-4-6-7	1	アスファルト舗装工	下層路盤工		I-23		
				2	アスファルト舗装工	上層路盤工(粒度調整路盤工)		I-23
				3	アスファルト舗装工	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		I-24
				4	アスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処理工		I-24
				5	アスファルト舗装工	基層工		I-25
				6	アスファルト舗装工	表層工		I-25
	3-4-6-8	1	コンクリート舗装工	下層路盤工		I-26		
				2	コンクリート舗装工	粒度調整路盤工		I-26
				3	コンクリート舗装工	セメント(石灰・瀝青)安定処理工		I-27
				4	コンクリート舗装工	アスファルト中間層		I-27
				5	コンクリート舗装工	コンクリート舗装版工		I-28

【第3編 森林土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
	3-4-6-9		路面切削工			I-29
	3-4-6-10		舗装打換え工			I-29
	3-4-6-11		オーバーレイ工			I-29
	3-4-6-14		砂利路盤工			I-30
第7節 地盤改良工	3-4-7-2		路床安定処理工			I-31
	3-4-7-3		置換工			I-31
	3-4-7-4		表層安定処理工	サンドマット海上		I-32
	3-4-7-5		パイルネット工			I-32
	3-4-7-6		サンドマット工			I-32
	3-4-7-7		バーチカルドレーン工	サンドドレーン工		I-33
				ペーパードレーン工		I-33
				袋詰式サンドドレーン工		I-33
	3-4-7-8		締固め改良工	サンドコンパクションパイル工		I-33
	3-4-7-9		固結工	粉末噴射攪拌工		I-33
高圧噴射攪拌工					I-33	
スラリー攪拌工					I-33	
生石灰パイル工					I-33	
第10節 仮設工	3-4-10-5	1	仮設土留・仮締切工	H鋼杭		I-34
				鋼矢板		
		2	仮設土留・仮締切工	アンカー工		I-34
		3	仮設土留・仮締切工	連節ブロック張り工		I-34
		4	仮設土留・仮締切工	締切盛土		I-34
	5	仮設土留・仮締切工	中詰盛土		I-35	
3-4-10-18		法面吹付工		3-4-14-3 吹付工	I-47	
第11節 軽量盛土工	3-4-11-2		軽量盛土工		3-2-1-12 路体盛土工	I-5
第12節 工場製作工 (共通)	3-4-12-1	1	一般事項	鋳造費 (金属支承工)		I-35～36
		2	一般事項	鋳造費 (大型ゴム支承工)		
		3	一般事項	仮設材製作工		
		4	一般事項	刃口金物製作工		
	3-4-12-3	1	桁製作工	仮組検査を実施する場合		I-38～39
				シミュレーション仮組検査を実施する場合		
		2	桁製作工	仮組検査を実施しない場合		I-40
	3	桁製作工	鋼製ダム製作工 (仮組立時)		I-41	
3-4-12-4		検査路製作工			I-41	

【第3編 森林土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第12節 工場製作工	3-4-12-5		鋼製伸縮継手製作工			I-41	
	3-4-12-6		落橋防止装置製作工			I-42	
	3-4-12-7		橋梁用防護柵製作工			I-42	
	3-4-12-8		アンカーフレーム製作工			I-42	
	3-4-12-9		プレビーム用桁製作工			I-43	
	3-4-12-10		鋼製排水管製作工			I-44	
	3-4-12-11		工場塗装工			I-44	
第13節 橋梁架設工	3-4-13		架設工（鋼橋）	クレーン架設		I-45	
				ケーブルクレーン架設		I-45	
				ケーブルエレクション架設		I-45	
				架設桁架設		I-45	
				送出し架設		I-45	
				トラベラークレーン架設		I-45	
	3-4-13		架設工（コンクリート橋）	クレーン架設		I-46	
				架設桁架設		I-46	
				架設工支保工	固定		I-46
				移動		I-46	
		架設桁架設	片持架設		I-46		
			押出し架設		I-46		
第14節 法面工（共通）	3-4-14-2	1	植生工	種子散布工		I-46	
				張芝工		I-46	
				筋芝工		I-46	
				植生シート工		I-46	
				植生マット工		I-46	
				植生筋工		I-46	
	2	植生工	植生基材吹付工		I-46		
			客土吹付工		I-46		
	3-4-14-3		吹付工（仮設を含む）	コンクリート		I-47	
				モルタル		I-47	
	3-4-14-4	1	法枠工	現場打法枠工		I-48	
				現場吹付法枠工		I-48	
	2	法枠工	プレキャスト法枠工		I-48		
3-4-14-5				アンカー工		I-48	
第15節 擁壁工（共通）	3-4-15-1		一般事項	場所打擁壁工		I-49	
	3-4-15-2		プレキャスト擁壁工			I-49	
	3-4-15-3		補強土壁工	補強土（テールアルメ）壁工法		I-50	
				多数アンカー式補強土工法		I-50	
				ジオテキスタイルを用いた補強土工法		I-50	
3-4-15-4		井桁ブロック工			I-50		
第16節 床版工	3-4-16-2		床版工			I-51	

【第4編 治山防潮工等】

省 略

【第5編 溪間・山腹工等】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第3節 護岸工	5-4-3-6		ブロック積擁壁工		3-4-5-3コンクリート ブロック工	I-21～22	
	5-4-3-7		石積擁壁工		3-4-5-5石積（張）工	I-22	
	5-4-3-8		護岸付属物工	横帯コンクリート	3-4-14-4法枠工	I-48	
	5-4-3-9		植生工		3-4-14-2植生工	I-46	
第4節 床固工	5-4-4-4		床固本體工		5-3-5-4コンクリート治 山ダム本體工	I-59	
	5-4-4-5		垂直壁工		5-3-5-4コンクリート治 山ダム本體工	I-59	
	5-4-4-6		側壁工		5-3-5-6コンクリート側 壁工	I-59	
	5-4-4-7		水叩工		5-3-5-8水叩工	I-60	
	5-4-4-8		魚道工			I-61	
第5節 根固め・水制 工	5-4-5-4		根固めブロック工		3-4-3-15根固めブロック 工	I-12	
	5-4-5-6		捨石工		3-4-3-17捨石工	I-13	
	5-4-5-7		かご工	じゃかご	5-3-3-6かご工	I-59	
				ふとんかご	5-3-3-6かご工	I-59	
		かごマット		3-4-3-23環境配慮型 護岸工	I-14		
第6節 流路付属物設 置工	5-4-6-2		階段工		3-4-3-19階段工	I-13	
第5章 山腹工							
第5節 軽量盛土工	5-5-5-2		軽量盛土工		3-2-1-12路体盛土工	I-5	
第6節 土留工	5-5-6-3		コンクリート土留工			I-62	
	5-5-6-4		鉄筋コンクリート土留 工		5-5-6-3コンクリート土 留工	I-62	
	5-5-6-5		石積及びコンクリート ブロック積土留工			I-62	
	5-5-6-6		丸太積土留工		5-3-7-6木製治山ダム工	I-61	
	5-5-6-7		コンクリート板土留工		5-5-6-5石積及びコンク リートブロック積土留工	I-62	
	5-5-6-8		鋼製枠土留工		5-3-6-5-1鋼製ダム本體 工	I-60	
	5-5-6-9		土のう積土留工		6-1-7-13土のう積工	I-65	
	5-5-6-10		既製杭工		3-4-4-4既製杭工	I-19	
	5-5-6-11		プレキャスト擁壁工		3-4-15-2プレキャスト 擁壁工	I-49	
	5-5-6-12		補強土壁工		3-4-15-3補強土壁工	I-50	
	5-5-6-13		井桁ブロック工		3-4-15-4井桁ブロック工	I-50	
	第7節 埋設工	5-5-7-1		埋設工		5-5-6 土留工	
	第8節 落石防護工	5-5-8-3		鋼製落石防止壁工			I-62
5-5-8-4			落石防護柵工		5-5-8-3鋼製落石防止壁 工	I-62	
5-5-8-5			落石防護網工		6-1-11-4落石防止網工	I-68	
5-5-8-6			落石防護土留工		5-5-6 土留工	-	
5-5-8-7			固定工（ロープ伏工）		6-1-11-4落石防止網工	I-68	

【第5編 溪間・山腹工等】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第9節 暗渠工	5-5-9-2		礫暗渠工			I-63
	5-5-9-3		鉄線籠暗渠工		5-5-9-2礫暗渠工	I-63
	5-5-9-4		その他二次製品を用いた暗渠工		5-5-9-2礫暗渠工	I-63
	5-5-9-5		ポーリング暗渠工			I-63
第10節 山腹水路工	5-5-10-3		水路工			I-63
	5-5-10-4		暗渠併用水路工		5-5-9-2礫暗渠工	I-63
	5-5-10-5		暗渠工		5-5-9-2礫暗渠工	I-63
	5-5-10-6		現場打水路工		3-4-3-26-2場所打水路工	I-16
	5-5-10-7		集水柵工		3-4-3-27集水柵工	I-17
	5-5-10-8		練石張水路工		5-5-10-3水路工	I-63
	5-5-10-9		植生土のう水路工		5-5-10-3水路工	I-63
	5-5-10-10		張芝水路工		5-5-10-3水路工	I-63
第11節 柵工	5-5-11-2		編柵工		5-5-12筋工	I-63
	5-5-11-3		木柵及び丸太柵工		5-5-12筋工	I-63
	5-5-11-4		コンクリート板柵工		5-5-12筋工	I-63
	5-5-11-5		鋼製及び合成樹脂二次製品の柵工		5-5-12筋工	I-63
第12節 筋工	5-5-12-2		石筋工			I-63
	5-5-12-3		萱筋工			I-63
	5-5-12-4		丸太筋工			I-63
	5-5-12-5		その他緑化二次製品を用いた筋工			I-63
第13節 伏工	5-5-13-2		わら伏工			I-64
	5-5-13-3		むしろ伏工			I-64
	5-5-13-4		網状工			I-64
	5-5-13-5		その他二次製品を用いた伏工			I-64
第14節 実播工	5-5-14-2		筋実播工		5-5-13 伏工	I-64
	5-5-14-3		斜面実播工		5-5-13 伏工	I-64
	5-5-14-4		航空実播工		5-5-13 伏工	I-64
第15節 吹付工	5-5-15-2		種子吹付工A		5-5-13 伏工	I-64
	5-5-15-3		種子吹付工B		5-5-13 伏工	I-64
	5-5-15-4		植生基材吹付工（客土及び厚層基材）		5-5-13 伏工	I-64
	5-5-15-5		特殊吹付工		5-5-13 伏工	I-64
第16節 法枠工	5-5-16-2		軽量法枠工		3-4-14-4-1法枠工	I-48
	5-5-16-3		プレキャストブロック法枠工		3-4-14-4-2法枠工	I-48
	5-5-16-4		現場打及び現場吹付法枠工		3-4-14-4-1法枠工	I-48

【第5編 溪間・山腹工等】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第17節 植栽工	5-5-17-2		植栽		第5章 山腹工	—
第18節 山腹工付属物設置工	5-5-18-2		点検施設工		第5章 山腹工	—
第6章 地すべり防止工						
第3節 暗渠工	5-6-3-2		礫暗渠工		5-5-9-2礫暗渠工	I-63
	5-6-3-3		鉄線籠暗渠工		5-5-9-2礫暗渠工	I-63
	5-6-3-4		その他二次製品を用いた暗渠工		5-5-9-2礫暗渠工	I-63
	5-6-3-5		ボーリング暗渠工		5-5-9-5ボーリング暗渠工	I-63
第4節 集水井工	5-6-4-3		施工（集水井）			I-64
第5節 排水トンネル工	5-6-5-2		掘削		第6編 林道 第7章 トンネル	—
	5-6-5-3		支保工一般			
	5-6-5-4		鋼製支保工			
	5-6-5-5		覆工			
第6節 排土工及び押え盛土工	5-6-6-2		排土工		3-2-1-6掘削工	I-1
	5-6-6-3		押え盛土工		3-2-1-7盛土工	I-2
第7節 杭工	5-6-7-2		鋼管杭及び合成杭			I-64
	5-6-7-3		場所打杭工			I-64
第8節 シャフト工（深礎工）	5-6-8-1		深礎工		5-6-7 杭工	I-64
第9節 アンカー工	5-6-9-2		施工		3-4-14-5アンカー工	I-48
第7章 なだれ防止林造成						
第4節 雪び予防工	5-7-4-1		吹きだめ柵、吹き払い柵		5-5-8-3鋼製落石防止壁工	I-62
第5節 なだれ予防工	5-7-5-1		階段工		3-2-1-6掘削工	I-1
	5-7-5-2		予防柵、防止柵		5-5-8-3鋼製落石防止壁工	I-62
	5-7-5-3		吊柵、吊柱		5-5-8-3鋼製落石防止壁工	I-62
第6節 誘導工	5-7-6-1		誘導堤		3-2-1-7盛土工	I-2
	5-7-6-2		誘導擁壁		5-5-6-3コンクリート土留工	I-62
	5-7-6-3		誘導柵		5-5-8-3鋼製落石防止壁工	I-62
第7節 減勢工	5-7-7-1		減勢杭、減勢枠組		5-3-6-5-2鋼製ダム本体工	I-60
第8節 防護工	5-7-8-1		防護擁壁		5-5-6-3コンクリート土留工	I-62
	5-7-8-2		防護柵		5-3-6-5-2鋼製ダム本体工	I-60
第6節 グライド防止工	5-7-9-1		木柵階段工		5-3-7-6木製治山ダム工	I-61
第8章 森林整備						
第4節 歩道整備	5-8-4-1		歩道作設			I-64

【第6編 林道】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 林道						
第1節 適用	6-1-1		路線・縦断			I-65
第3節 工場製作工	6-1-3-1		一般製作工	一般制作工	3-4-12 工場製作工(共通)	I-35~43
				工場塗装工	3-4-12-11工場塗装工	
第3節 地盤改良工	6-1-4-2		路床安定処理工		3-4-7-2路床安定処理工	I-31
	6-1-4-3		置換工		3-4-7-3置換工	I-31
	6-1-4-4		サンドマット工		3-4-7-6サンドマット工	I-32
	6-1-4-5		バーチカルドレーン工 法		3-4-7-7バーチカルドレーン 工法	I-33
	6-1-4-6		締固め改良工		3-4-7-8締固め改良工	I-33
	6-1-4-7		固結工		3-4-7-9固結工	I-33
第5節 法面工	6-1-5-2		植生工		3-4-14-2植生工	I-46
	6-1-5-3		吹付工		3-4-14-3吹付工	I-47
	6-1-5-4		法枠工		3-4-14-4法枠工	I-48
	6-1-5-5		アンカー工		3-4-14-5アンカー工	I-48
	6-1-5-6		かご工	じゃかご	3-4-3-24羽口工	I-15
				ふとんかご	3-4-3-24羽口工	I-15
	6-1-5-7		柵工			I-65
第6節 軽量盛土工	6-1-6-2		軽量盛土工		3-2-1-12路体盛土工	I-5
第7節 擁壁工	6-1-7-3		既製杭工		3-4-4-4既製杭工	I-19
	6-1-7-4		場所打杭工		3-4-15-1場所打杭工	I-19
	6-1-7-5		場所打擁壁工		4-2-6-3場所打擁壁工	I-49
	6-1-7-6		プレキャスト擁壁工		3-4-15-2プレキャスト擁壁 工	I-49
	6-1-7-7		補強土壁工	補強土(テールアルメ)壁 工法	3-4-15-3補強土壁工	I-50
				多数アンカー式補強土工法	3-4-15-3補強土壁工	
				ジオテキスタイルを用いた 補強土工法	3-4-15-3補強土壁工	
	6-1-7-8		井桁ブロック工		3-4-15-4井桁ブロック工	I-50
	6-1-7-10		鋼製擁壁工		5-3-6-5-1鋼製ダム工本 体工	I-60
	6-1-7-11		簡易鋼製擁壁工		5-3-6-5-1鋼製ダム工本 体工	I-60
6-1-7-12		木製土留・擁壁工			I-65	
6-1-7-13		土のう積工			I-65	

【第6編 林道】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第8節 石・ブロック積(張)工	6-1-8-3		コンクリートブロック工		3-4-5-3コンクリートブロック工	I-21～22
	6-1-8-4		石積(張)工		3-4-5-5石積(張)工	I-22
第9節カルバート工	6-1-9-4		既製杭工		3-4-4-4既製杭工	I-19
	6-1-9-5		場所打杭工		3-4-4-5場所打杭工	I-19
	6-1-9-6		場所打函渠工			I-66
	6-1-9-7		プレキャストカルバート工		3-4-3-25プレキャストカルバート工	I-15
第10節 排水施設工	6-1-10-3		側溝工	素掘り		I-66
				プレキャストU型側溝等	3-4-3-26側溝工	I-16
	6-1-10-4		横断工	開渠		I-66
	6-1-10-5		コルゲートパイプ工			I-67
	6-1-10-6		コルゲートフリューム工			I-67
	6-1-10-7		洗越工			I-67
	6-1-10-8		呑口工及び吐口工		6-1-10-11流末工	I-67
	6-1-10-9		集水ます工		3-4-3-27集水楯工	I-17
	6-1-10-10		流木除け工及び土砂止め工		6-1-10-11流末工	I-67
	6-1-10-11		流末工			I-67
	6-1-10-12		地下排水工		3-4-3-26-3暗渠工	I-16
	6-1-10-13		法面排水工(小段排水・縦排水工)		3-4-3-26側溝工	I-16
	6-1-10-14		管渠工		3-4-3-26-1管渠	I-16
	6-1-10-15		場所打水路工		3-4-3-26-2場所打水路工	I-16
	第11節 落石雪害防止工	6-1-11-4		落石防止網工		
6-1-11-5			落石防護柵工			I-68
6-1-11-6			防雪柵工			I-68
6-1-11-7			雪崩予防柵工			I-68
第2章 舗装						
第3節 地盤改良工	6-2-3-2		路床安定処理工		3-4-7-2路床安定処理工	I-31
	6-2-3-3		置換工		3-4-7-3置換工	I-31
第4節 舗装工	6-2-4-5		アスファルト舗装工		3-4-6-7アスファルト舗装工	I-23～25
	6-2-4-6		コンクリート舗装工		3-4-6-8コンクリート舗装工	I-26～28
	6-2-4-7		砂利路盤工		3-4-6-14砂利路盤工	I-30

【第6編 林道】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第5節 排水施設工	6-2-5-3		側溝工		3-4-3-26側溝工	I-16
	6-2-5-4		横断工		6-1-10-4横断工	I-66
	6-2-5-5		コルゲートパイプ工		6-1-10-5コルゲートパイプ工	I-67
	6-2-5-6		コルゲートフリューム工		6-1-10-6コルゲートフリューム工	I-67
	6-2-5-7		洗越工		6-1-10-7洗越工	I-67
	6-2-5-8		呑口工及び吐口工		6-1-10-11流末工	I-67
	6-2-5-9		集水ます工		3-4-3-27集水楯工	I-17
	6-2-5-10		流木除け工及び土砂止め工		6-1-10-11流末工	I-67
	6-2-5-11		流末工		6-1-10-11流末工	I-67
	6-2-5-12		地下排水工		3-4-3-26-3暗渠工	I-16
	6-2-5-13		法面排水工（小段排水・縦排水工）		3-4-3-26側溝工	I-16
	6-2-5-14		管渠工		3-4-3-26-1管渠	I-16
	6-2-5-15		場所打水路工		3-4-3-26-2現場打水路工	I-16
	第6節 踏掛版工	6-2-6-4		踏掛版工	コンクリート工	
ラバーシュー						I-69
アンカーボルト						I-69
第7節 防護施設工	6-2-7-3		路側防護柵工		3-4-3-7路側防護柵工	I-8
	6-2-7-4		ボックスビーム工		3-4-3-7路側防護柵工	I-8
	6-2-7-5		車止めポスト工			I-69
第8節 区画線工	6-2-8-2		区画線工		3-4-3-8区画線工	I-8
第3章 橋梁下部						
第3節 工場製作工	6-3-3-2		刃口金物製作工		3-4-12-1-4刃口金物製作工	I-37
	6-3-3-3		鋼製橋脚製作工			I-70
	6-3-3-4		アンカーフレーム製作工		3-4-12-8アンカーフレーム製作工	I-42
	6-3-3-5		工場塗装工		3-4-12-11工場塗装工	I-44
第5節 軽量盛土工	6-3-5-2		軽量盛土工		3-2-1-12路体盛土工	I-5
第6節 橋台工	6-3-6-3		既製杭工		3-4-4-4既製杭工	I-19
	6-3-6-4		場所打杭工		3-4-4-5場所打杭工	I-19
	6-3-6-5		深礎工		3-4-4-6深礎工	I-20
	6-3-6-6		オープンケーソン基礎工		3-4-4-7オープンケーソン基礎工	I-20
	6-3-6-7		ニューマチックケーソン基礎工		3-4-4-8ニューマチックケーソン基礎工	I-20
	6-3-6-8		橋台躯体工			I-71

【第6編 林道】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第7節 RC橋脚工	6-3-7-3		既製杭工		3-4-4-4既製杭工	I-19	
	6-3-7-4		場所打杭工		3-4-4-5場所打杭工	I-19	
	6-3-7-5		深礎工		3-4-4-6深礎工	I-20	
	6-3-7-6		オープンケーソン基礎工		3-4-4-7オープンケーソン基礎工	I-20	
	6-3-7-7		ニューマチックケーソン基礎工		3-4-4-8ニューマチックケーソン基礎工	I-20	
	6-3-7-8		鋼管矢板基礎工		3-4-4-9鋼管矢板基礎工	I-21	
	6-3-7-9	1	橋脚躯体工	張出式			I-72
				重力式			I-72
				半重力式			I-72
2	橋脚躯体工	ラーメン式			I-73		
第8節 鋼製橋脚工	6-3-8-3		既製杭工		3-4-4-4既製杭工	I-19	
	6-3-8-4		場所打杭工		3-4-4-5場所打杭工	I-19	
	6-3-8-5		深礎工		3-4-4-6深礎工	I-20	
	6-3-8-6		オープンケーソン基礎工		3-4-4-7オープンケーソン基礎工	I-20	
	6-3-8-7		ニューマチックケーソン基礎工		3-4-4-8ニューマチックケーソン基礎工	I-20	
	6-3-8-8		鋼管矢板基礎工		3-4-4-9鋼管矢板基礎工	I-21	
	6-3-8-9	1	橋脚フーチング工	I型・T型			I-73
		2	橋脚フーチング工	門型			I-74
	6-3-8-10	1	橋脚架設工	I型・T型			I-74
		2	橋脚架設工	門型			I-74
	6-3-8-11		現場継手工				I-74
	6-3-8-12		現場塗装工			3-4-3-28現場塗装工	I-17
第9節 護岸基礎工	6-3-9-3		基礎工		3-4-4-3基礎工（護岸）	I-18～19	
	6-3-9-4		矢板工		3-4-3-4矢板工	I-7	
第10節 矢板護岸工	6-3-10-3		笠コンクリート工		3-4-4-3基礎工（護岸）	I-18	
	6-3-10-4		矢板工		3-4-3-4矢板工	I-7	
第11節 法覆護岸工	6-3-11-2		コンクリートブロック工		3-4-5-3コンクリートブロック工	I-21～22	
	6-3-11-3		護岸付属物工	小口止矢板	3-4-3-4矢板工	I-7	
	6-3-11-4		緑化ブロック工		3-4-5-4緑化ブロック工	I-22	
	6-3-11-5		環境護岸ブロック工		3-4-5-3コンクリートブロック工	I-21～22	
	6-3-11-6		石積（張）工		3-4-5-5石積（張）工	I-22	
	6-3-11-7		法枠工		3-4-14-4法枠工	I-48	

【第6編 林道】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第11節 法覆護岸工	6-3-11-8		環境配慮型護岸工	巨石張り	3-4-3-23環境配慮型護岸工	I-14	
			環境配慮型護岸工	巨石積み	3-4-3-23環境配慮型護岸工	I-14	
			環境配慮型護岸工	かごマット	3-4-3-23環境配慮型護岸工	I-14	
	6-3-11-9		吹付工		3-4-14-3吹付工	I-47	
	6-3-11-10		植生工		3-4-14-2植生工	I-46	
	6-3-11-11		覆土工		3-2-1-14法面整形工	I-6	
	6-3-11-12		羽口工	じゃかご		3-4-3-24羽口工	I-15
				ふとんかご		3-4-3-24羽口工	
				かご枠		3-4-3-24羽口工	
				連節ブロック張り		3-4-5-3-2連節ブロック張り	I-21
第12節 法覆護岸工	6-3-12-3		場所打擁壁工		3-4-15-1場所打擁壁工	I-49	
	6-3-12-4		プレキャスト擁壁工		3-4-15-2プレキャスト擁壁工	I-49	
第4章 鋼橋上部							
第3節 工場製作工	6-4-3-3		桁製作工		3-4-12-3桁製作工	I-38～40	
	6-4-3-4		検査路製作工		3-4-12-4検査路製作工	I-41	
	6-4-3-5		鋼製伸縮継手製作工		3-4-12-5鋼製伸縮継手製作工	I-41	
	6-4-3-6		落橋防止装置製作工		3-4-12-6落橋防止装置製作工	I-42	
	6-4-3-7		鋼製排水管製作工		3-4-12-10鋼製排水管製作工	I-43	
	6-4-3-8		橋梁用防護柵製作工		3-4-12-7橋梁用防護柵製作工	I-42	
	6-4-3-9		橋梁用高欄製作工			I-75	
	6-4-3-11		アンカーフレーム製作工		3-4-12-8アンカーフレーム製作工	I-42	
	6-4-3-12		工場塗装工		3-4-12-11工場塗装工	I-44	
	第5節 橋梁架設工	6-4-5-4		架設工（クレーン架設）		3-4-13 架設工（鋼橋）	I-45
6-4-5-5			架設工（ケーブルクレーン架設）		3-4-13 架設工（鋼橋）	I-45	
6-4-5-6			架設工（ケーブルエレクション架設）		3-4-13 架設工（鋼橋）	I-45	
6-4-5-7			架設工（架設桁架設）		3-4-13 架設工（鋼橋）	I-45	
6-4-5-8			架設工（送出し架設）		3-4-13 架設工（鋼橋）	I-45	
6-4-5-9			架設工（トラベラークレーン架設）		3-4-13 架設工（鋼橋）	I-45	
6-4-5-10		1	支承工	鋼製支承			I-75
		2	支承工	ゴム支承			I-75

【第6編 林道】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第6節 橋梁現場塗装工	6-4-6-3		現場塗装工		3-4-3-28現場塗装工	I-17
第7節 床版工	6-4-7-2		床版工		3-4-16-2床版工	I-51
第8節 橋梁付属物工	6-4-8-2		伸縮装置工		3-4-3-21伸縮装置工	I-13~14
	6-4-8-3		落橋防止装置工			I-76
	6-4-8-5		地覆工			I-76
	6-4-8-6		橋梁用防護柵工			I-76
	6-4-8-7		橋梁用高欄工			I-76
	6-4-8-8		検査路工			I-76
第5章 コンクリート橋上部						
第3節 工場製作工	6-5-3-2		プレビーム用桁製作工		3-4-12-9プレビーム用桁製作工	I-43
	6-5-3-3		橋梁用防護柵製作工		3-4-12-7橋梁用防護柵製作工	I-42
	6-5-3-4		鋼製伸縮継手製作工		3-4-12-5鋼製伸縮継手製作工	I-41
	6-5-3-5		検査路製作工		3-4-12-4検査路製作工	I-41
	6-5-3-6		工場塗装工		3-4-12-11工場塗装工	I-44
	第5節 PC橋工	6-5-5-2		プレテンション桁製作工（購入工）	けた橋	3-4-3-10プレテンション桁製作工（購入工）
				スラブ橋	3-4-3-10プレテンション桁製作工（購入工）	I-9
6-5-5-3			ポストテンション桁製作工		3-4-3-11-1ポストテンション桁製作工	I-10
6-5-5-4			プレキャストセグメント桁製作工（購入工）		3-4-3-11-2プレキャストセグメント桁製作工（購入工）	I-10
6-5-5-5			プレキャストセグメント主桁組立工		3-4-3-12プレキャストセグメント主桁組立工	I-10
6-5-5-6			支承工		6-4-5-10支承工	I-75
6-5-5-7			架設工（クレーン架設）		3-4-13 架設工（コンクリート橋）	I-46
6-5-5-8			架設工（架設桁架設）		3-4-13 架設工（コンクリート橋）	I-46
6-5-5-9			床版・横組工		3-4-16-2床版工	I-51
6-5-5-10			落橋防止装置工		6-4-8-3落橋防止装置工	I-76
第6節 プレビーム橋工	6-5-6-2		プレビーム桁製作工	現場		I-77
	6-5-6-3		支承工		6-4-5-10支承工	I-75
	6-5-6-4		架設工（クレーン架設）		3-4-13 架設工（鋼橋）	I-45
	6-5-6-5		架設工（架設桁架設）		3-4-13 架設工（鋼橋）	I-45
	6-5-6-6		床版・横組工		3-4-16-2床版工	I-51
	6-5-6-9		落橋防止装置工		6-4-8-3落橋防止装置工	I-76

【第6編 林道】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第7節 PCホロースラブ橋工	6-5-7-3		支承工		6-4-5-10支承工	I-75
	6-5-7-4		PCホロースラブ製作工		3-4-3-13PCホロースラブ製作工	I-11
	6-5-7-5		落橋防止装置工		6-4-8-3落橋防止装置工	I-76
第8節 RCホロースラブ橋工	6-5-8-3		支承工		6-4-5-10支承工	I-75
	6-5-8-4		RC場所打ホロースラブ製作工		3-4-3-13PCホロースラブ製作工	I-11
	6-5-8-5		落橋防止装置工		6-4-8-3落橋防止装置工	I-76
第9節 PC版桁橋工	6-5-9-2		PC版桁製作工		3-4-3-13PCホロースラブ製作工	I-11
第10節 PC箱桁橋工	6-5-10-3		支承工		6-4-5-10支承工	I-75
	6-5-10-4		PC箱桁製作工		3-4-3-14-1PC箱桁製作工	I-11
	6-5-10-5		落橋防止装置工		6-4-8-3落橋防止装置工	I-76
第11節 PC片持箱桁橋工	6-5-11-2		PC片持箱桁製作工		3-4-3-14-1PC箱桁製作工	I-11
	6-5-11-3		支承工		6-4-5-10支承工	I-75
	6-5-11-4		架設工（片持架設）		3-4-13 架設工（コンクリート橋）	I-46
第12節 PC押し箱桁橋工	6-5-12-2		PC押し箱桁製作工		3-4-3-14-2PC押し箱桁製作工	I-12
	6-5-12-3		架設工（押し架設）		3-4-13 架設工（コンクリート橋）	I-46
第13節 橋梁付属物工	6-5-13-2		伸縮装置工		3-4-3-21伸縮装置工	I-13～14
	6-5-13-4		地覆工		6-4-8-5地覆工	I-76
	6-5-13-5		橋梁用防護柵工		6-4-8-6橋梁用防護柵工	I-76
	6-5-13-6		橋梁用高欄工		6-4-8-7橋梁用高欄工	I-76
	6-5-13-7		検査路工		6-4-8-8検査路工	I-76
第6章 木造橋上部						
第3節 木造橋上部	6-6-3-3		木桁	木造橋（上下部構造）		I-77
第7章 トンネル（NATM）						
第4節 支保工	6-7-4-3		吹付工			I-77
	6-7-4-4		ロックボルト工			I-77
第5節 覆工	6-7-5-3		覆工コンクリート工			I-78
	6-7-5-4		側壁コンクリート工		6-7-5-3覆工コンクリート工	I-78
	6-7-5-5		床版コンクリート工			I-78
第6節 インバート工	6-7-6-4		インバート本体工			I-79
第7節 坑内付帯工	6-7-7-5		地下排水工		3-4-3-26-3暗渠工	I-16
第8節 坑門工	6-7-8-4		坑門本体工			I-79
	6-7-8-5		明り巻工			I-79

【第6編 林道】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第8章 道路維持						
第3節 舗装工	6-8-3-3		路面切削工		3-4-6-9路面切削工	I-29
	6-8-3-4		舗装打換え工		3-4-6-10舗装打換え工	I-29
	6-8-3-5		切削オーバーレイ工			I-80
	6-8-3-6		オーバーレイ工		3-4-6-11オーバーレイ工	I-29
	6-8-3-7		路上再生工			I-80
	6-8-3-8		コンクリート舗装補修工		3-4-6-8コンクリート舗装工	I-26～28
	6-8-3-9		アスファルト舗装補修工		3-4-6-7アスファルト舗装工	I-23～25
	6-8-3-10		砂利路盤工		3-4-6-14砂利路盤工	I-30
第4節 排水構造物工	6-8-4-3		側溝工		3-4-3-26側溝工	I-16
	6-8-4-4		横断工		6-1-10-4横断工	I-66
	6-8-4-5		コルゲートパイプ工		6-1-10-5コルゲートパイプ工	I-67
	6-8-4-6		コルゲートフリューム工		6-1-10-6コルゲートフリューム工	I-67
	6-8-4-7		洗越工		6-1-10-7洗越工	I-67
	6-8-4-8		呑口工及び吐口工		6-1-10-11流末工	I-67
	6-8-4-9		集水ます工		3-4-3-27集水柵工	I-17
	6-8-4-10		流木除け工及び土砂止め工		6-1-10-11流末工	I-67
	6-8-4-11		流末工		6-1-10-11流末工	I-67
	6-8-4-12		地下排水工		3-4-3-26-3暗渠工	I-16
	6-8-4-13		法面排水工（小段排水・縦排水工）		3-4-3-26側溝工	I-16
	6-8-4-14		管渠工		3-4-3-26-1管渠	I-16
	6-8-4-15		場所打水路工		3-4-3-26-2場所打水路工	I-16
第5節 防護柵工	6-8-5-3		路側防護柵工		3-4-3-7路側防護柵工	I-8
	6-8-5-4		ボックスビーム工		3-4-3-7路側防護柵工	I-8
	6-8-5-5		車止めポスト工		6-2-7-5車止めポスト工	I-69
第6節 標識工	6-8-6-3		小型標識工		3-4-3-6小型標識工	I-7
第7節 軽量盛土工	6-8-7-2		軽量盛土工		3-2-1-12路体盛土工	I-5
第8節 擁壁工	6-8-8-5		場所打擁壁工		3-4-15-1場所打擁壁工	I-49
	6-8-8-6		プレキャスト擁壁工		3-4-15-2プレキャスト擁壁工	I-49
第9節 石・ブロック積工	6-8-9-3		コンクリートブロック工		3-4-5-3コンクリートブロック工	I-21～22
	6-8-9-4		石積（張）工		3-4-5-5石積（張）工	I-22

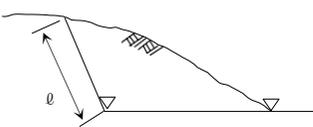
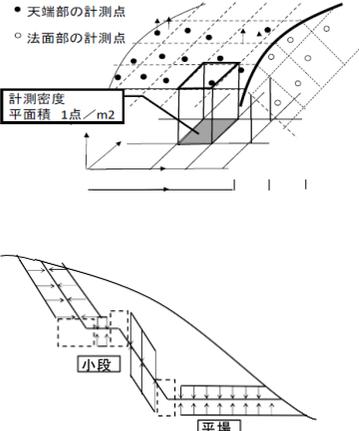
【第6編 林道】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第10節 カルバート工	6-8-10-6		場所打函渠工		6-1-9-6場所打函渠工	I-66
	6-8-10-7		プレキャストカルバート工		3-4-3-25プレキャストカルバート工	I-15
第11節 法面工	6-8-11-2		植生工		3-4-14-2植生工	I-46
	6-8-11-3		吹付工		3-4-14-3吹付工	I-47
	6-8-11-4		法枠工		3-4-14-4法枠工	I-48
	6-8-11-5		アンカー工		3-4-14-5アンカー工	I-48
	6-8-11-6		かご工	じゃかご	3-4-3-24羽口工	I-15
				ふとんかご	3-4-3-24羽口工	
第13節 橋梁付属物工	6-8-13-2		伸縮継手工		3-4-3-21伸縮装置工	I-13~14
	6-8-13-4		地覆工		6-4-8-5地覆工	I-76
	6-8-13-5		橋梁用防護柵工		6-4-8-6橋梁用防護柵工	I-76
	6-8-13-6		橋梁用高欄工		6-4-8-7橋梁用高欄工	I-76
	6-8-13-7		検査路工		6-4-8-8検査路工	I-76
第14節 現場塗装工	6-8-14-3		橋梁塗装工		3-4-3-28現場塗装工	I-17
第10章 道路修繕						
第3節 工場製作工	6-10-3-4		桁補強材製作工			I-81
	6-10-3-5		落橋防止装置製作工		3-4-12-6落橋防止装置製作工	I-42
第5節 舗装工	6-10-5-3		路面切削工		3-4-6-9路面切削工	I-29
	6-10-5-4		舗装打換え工		3-4-6-10舗装打換え工	I-29
	6-10-5-5		切削オーバーレイ工		6-8-3-5切削オーバーレイ工	I-80
	6-10-5-6		オーバーレイ工		3-4-6-11オーバーレイ工	I-29
	6-10-5-7		路上再生工		6-8-3-7路上再生工	I-80
	6-10-5-8		砂利路盤工		3-4-6-14砂利路盤工	I-30
第6節 排水構造物工	6-10-6-3		側溝工		3-4-3-26側溝工	I-16
	6-10-6-4		管渠工		3-4-3-26-1管渠	I-16
	6-10-6-5		集水ます工		3-4-3-27集水柵工	I-17
	6-10-6-6		地下排水工		3-4-3-26-3暗渠工	I-16
	6-10-6-7		場所打水路工		3-4-3-26-2場所打水路工	I-16
	6-10-6-8		排水工		3-4-3-26側溝工	I-16
第7節 縁石工	6-10-7-3		縁石工		3-4-3-5縁石工	I-7
第8節 防護柵工	6-10-8-3		路側防護柵工		3-4-3-7路側防護柵工	I-8
	6-10-8-4		ボックスビーム工		3-4-3-7路側防護柵工	I-8
	6-10-8-5		車止めポスト工		6-2-7-5車止めポスト工	I-69
第9節 標識工	6-10-9-3		小型標識工		3-4-3-6小型標識工	I-7
第10節 区画線工	6-10-10-2		区画線工		3-4-3-8区画線工	I-8

【第6編 林道】

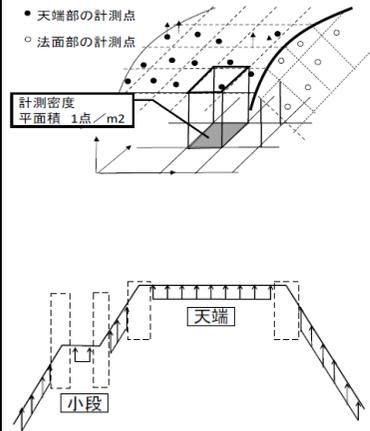
章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第11節 軽量盛土工	6-10-11-2		軽量盛土工		3-2-1-12路体盛土工	I-5
第12節 擁壁工	6-10-12-5		場所打擁壁工		3-4-15-1場所打擁壁工	I-49
	6-10-12-6		プレキャスト擁壁工		3-4-15-2プレキャスト擁壁工	I-49
第13節 石・ブロック積工	6-10-13-3		コンクリートブロック工		3-4-5-3コンクリートブロック工	I-21～22
	6-10-13-4		石積（張）工		3-4-5-5石積（張）工	I-22
第14節 カルバート工	6-10-14-6		場所打函渠工		6-1-9-6場所打函渠工	I-60
	6-10-14-7		プレキャストカルバート工		3-4-3-25プレキャストカルバート工	I-15
第15節 法面工	6-10-15-2		植生工		3-4-14-2植生工	I-46
	6-10-15-3		吹付工		3-4-14-3吹付工	I-47
	6-10-15-4		法枠工		3-4-14-4法枠工	I-48
	6-10-15-5		アンカー工		3-4-14-5アンカー工	I-48
	6-10-15-6		かご工	じゃかご	3-4-3-24羽口工	I-15
				ふとんかご	3-4-3-24羽口工	I-15
第16節 落石雪害防止工	6-10-16-4		落石防止網工		6-1-11-4落石防止網工	I-68
	6-10-16-5		落石防護柵工		6-1-11-5落石防護柵工	I-68
	6-10-16-6		防雪柵工		6-1-11-6防雪柵工	I-68
	6-10-16-7		雪崩予防柵工		6-1-11-7雪崩予防柵工	I-68
第18節 鋼桁工	6-10-18-3		鋼桁補強工		6-10-3-4桁補強材製作工	I-81
第19節 鋼橋支承工	6-10-19-3		鋼橋支承工		6-4-5-10支承工	I-75
	6-10-19-4		P C 橋支承工		6-4-5-10支承工	I-75
第20節 橋梁付属物工	6-10-20-3		伸縮継手工		3-4-3-21伸縮装置工	I-14
	6-10-20-4		落橋防止装置工		6-4-8-3落橋防止装置工	I-76
	6-10-20-6		地覆工		6-4-8-5地覆工	I-76
	6-10-20-7		橋梁用防護柵工		6-4-8-6橋梁用防護柵工	I-76
	6-10-20-8		橋梁用高欄工		6-4-8-7橋梁用高欄工	I-76
	6-10-20-9		検査路工		6-4-8-8検査路工	I-76
第22節 現場塗装工	6-10-22-3		橋梁塗装工		3-4-3-28現場塗装工	I-17

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 森 林 土 木 工 事 共 通 編	2 土 工	1 適 用	6	1	掘削工	基 準 高 ▽	±50	施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		3-2-1-6	
						法長ℓ	ℓ<5m				-200
							ℓ≥5m				法長-4%
				2	掘削工 (面管理の場合)			平均値	個々の計測値	1. 3次元データによる出来形管理を実施する場合、発注者が指定する基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3. 計測は平場面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差を算出する。計測密度は1点/m ² (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法肩、法尻から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。同様に、標高方向に±5cm以内にある計測点は水平較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。	
平場	標高較差	±50	±150								
法面 (小段含む)	水平または 標高較差	±70	±160								

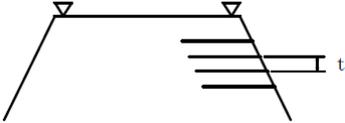
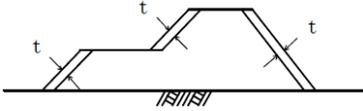
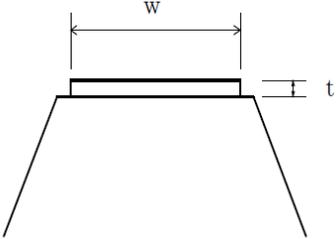
出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
3 森林土木工事共通編	2 土工	1 適用	7	1	盛土工	基準高▽	-50	施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		3-2-1-7		
						法長 l	$l < 5m$				-100	
							$l \geq 5m$				法長-2%	
						幅 w_1, w_2					-100	
	2				2	盛土工 (面管理の場合)		平均値	個々の計測値	<p>1. 3次元データによる出来形管理を実施する場合、発注者が指定する基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は天端面と法面（小段を含む）の全面とし、全ての点で設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点/m²（平面投影面積当たり）以上とする。</p> <p>4. 法肩、法尻から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。</p> <p>5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。</p>	3-2-1-7	
							天端	標高較差	-50			-150
							法面 4割<勾配	標高較差	-50			-170
							法面 4割≥勾配 (小段含む)	標高較差	-60			-170
							※ただし、ここでの勾配は、鉛直方向の長さ1に対する、水平方向の長さXをX割と表したもの					



単位：mm

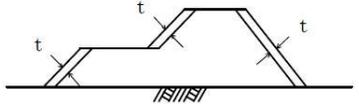
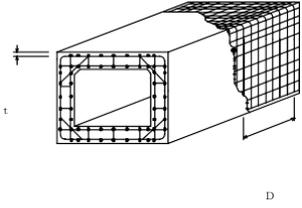
1-3

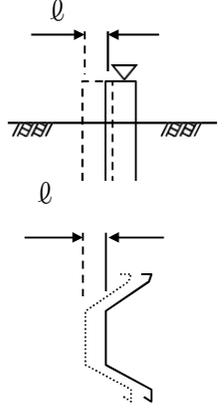
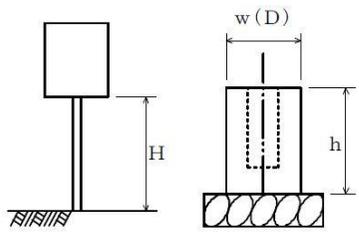
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 森林土木工事共通編	2 土工	1 適用	8		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	基準高▽	-50	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-1-8	
						厚 さ t	-50				
						控 え 長 さ	設計値以上				
3 森林土木工事共通編	2 土工	1 適用	9		法面整形工 (盛土部)	厚 さ t	※-30	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所、法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。		3-2-1-9	
3 森林土木工事共通編	2 土工	1 適用	10		堤防天端工	厚さ t	t < 15cm	-25	幅は、施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 厚さは、施工延長200mにつき1ヶ所、200m以下は2ヶ所、中央で測定。		3-2-1-10
							t ≥ 15cm	-50			
						幅 w	-100				

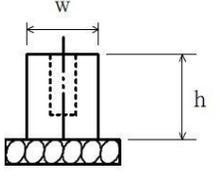
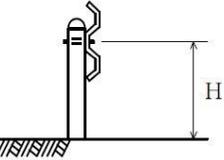
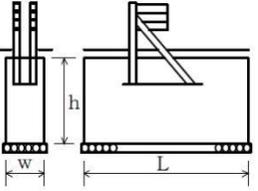
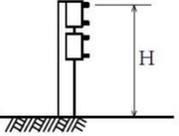
出来形管理基準及び規格値

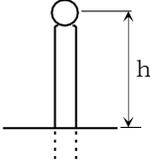
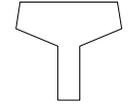
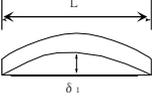
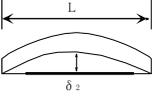
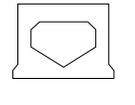
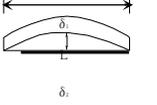
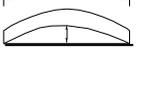
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
3 森林土木工事共通編	2 土工	1 適用	11	1	残土処理工	基準高▽	±50	施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		3-2-1-11		
						法長ℓ	ℓ<5m				-100	
							ℓ≥5m				法長-2%	
						幅	w1, w2				-100	
				2	残土処理工 (面管理の場合)			平均値	個々の計測値	<p>1. 3次元データによる出来形管理を実施する場合、発注者が指定する基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は天端面と法面（小段を含む）の全面とし、全ての点で設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点/m²（平面投影面積当たり）以上とする。</p> <p>4. 法肩、法尻から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。</p> <p>5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。</p>		3-2-1-11
						天端	標高較差	±50	±150			
						法面 (小段含む)	標高較差	±80	±190			

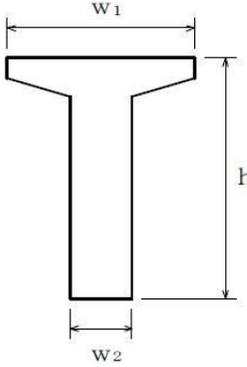
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 森林土木工事共通編	2 土工	1 適用	12 13	1	路体盛土工 路床盛土工	基準高▽	±50	施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		3-2-1-12 3-2-1-13	
						法長ℓ	ℓ<5m				-100
							ℓ≥5m				法長-2%
						幅	w ₁ , w ₂				-100
				2	路体盛土工 路床盛土工 (面管理の場合)		平均値	個々の計測値	<p>1. 3次元データによる出来形管理を実施する場合、発注者が指定する基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は天端面と法面（小段を含む）の全面とし、全ての点で設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点/m²（平面投影面積当たり）以上とする。</p> <p>4. 法肩、法尻から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。</p> <p>5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。</p>		3-2-1-12 3-2-1-13
				天端	標高較差	±50	±150				
				法面 (小段含む)	標高較差	±80	±190				

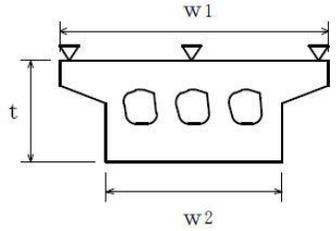
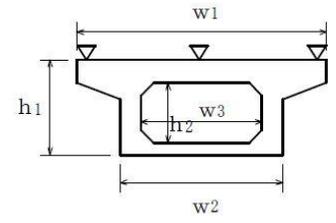
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林 土木 工事 共通 編	2 土 工	1 適 用	14		法面整形工 (盛土部)	厚 さ t	※-30	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。		3-2-1-14
3 森林 土木 工事 共通 編	3 無 筋 ・ 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト	6 鉄 筋 工	4		組立て	平均間隔 d	±φ	$d = \frac{D}{n-1}$ D：n本間の延長 n：10本程度とする φ：鉄筋径 工事の規模に応じて、1リフト、1ロット当たりに対して各面で一箇所以上測定する。最小かぶりは、コンクリート標準示方書（設計編：標準 7編 2章 2.1）参照。ただし、道路橋示方書の適用を受ける橋については、道路橋示方書(Ⅲコンクリート橋編 6.6)による。 注1) 重要構造物 かつ主鉄筋について適用する。 注2) 橋梁コンクリート床版桁（PC橋含む）の鉄筋については、第3編3-2-18-2床版工を適用する。 注3) 新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外））の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する。		3-3-6-4
						かぶり t	±φかつ 最小かぶり 以上			

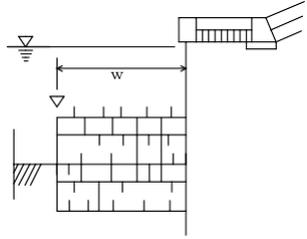
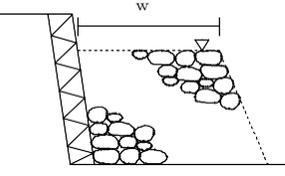
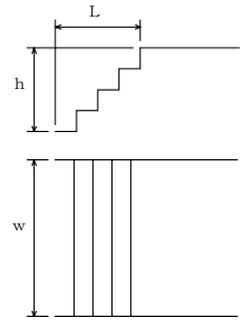
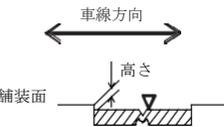
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	3 共通の工種	4		矢板工〔指定仮設・任意仮設は除く〕 (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	基準高 ∇	±50	基準高は施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 変位は、施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-4-3-4	
						根 入 長	設計値以上				
						変 位 l	100				
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	3 共通の工種	5		縁石工 (縁石・アスカーブ)	延 長 L	-200	1ヶ所/1施工箇所		3-4-3-5	
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	3 共通の工種	6		小型標識工	設置高さ H	設計値以上	1ヶ所/1基		3-4-3-6	
						基礎	幅 w (D)	-30			基礎 1 基毎
							高さ h	-30			
							根入れ長	設計値以上			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 森林土木 工事共通 編	4 一般施 工	3 共通の 工種	7	1	路側防護柵工 (ガードレール)	基礎	幅 w	-30	1ヶ所/施工延長40m、40m以下のものは、2ヶ所/1施工箇所。	 	3-4-3-7
							高さ h	-30			
						ビーム取付高 H	+30 -20	1ヶ所/1施工箇所			
3 森林土木 工事共通 編	4 一般施 工	3 共通の 工種	7	2	路側防護柵工 (ガードケーブル)	基礎	幅 w	-30	1ヶ所/1基礎毎	 	3-4-3-7
							高さ h	-30			
							延長 L	-100			
						ケーブル取付高 H	+30 -20	1ヶ所/1施工箇所			
3 森林土木 工事共通 編	4 一般施 工	3 共通の 工種	8		区画線工	厚さ t (溶融式のみ)	設計値以上	各線種毎に、1ヶ所テストピースにより測定。		3-4-3-8	
						幅 w	設計値以上				

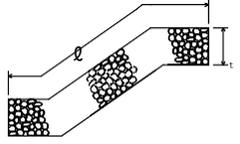
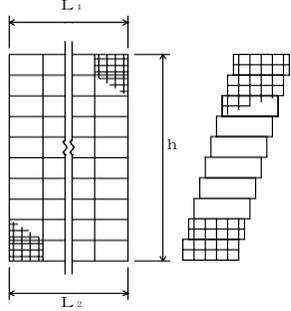
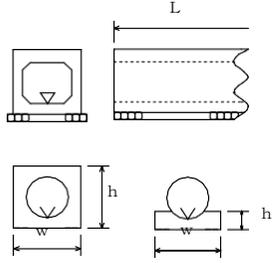
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3	4	3	9		道路付属物工 (視線誘導標) (距離標)	高 さ h	±30	1ヶ所/10本 10本以下の場合は、2ヶ所測定。		3-4-3-9
3	4	3	10	1	プレテンション桁製作工 (購入工) (けた橋)	桁長 L (m)	±L/1000	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行するJISに基づく試験成績表に替えることができる。	断面図  側面図  平面図 	3-4-3-10
						断面の外形寸法	±5			
						橋 桁 の そり δ_1	±8			
						横方向の曲がり δ_2	±10			
3	4	3	10	2	プレテンション桁製作工 (購入工) (スラブ桁)	桁長 L (m)	±10… L ≤ 10m ±L/1000… L > 10m	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、製造工場の発行するJISに基づく試験成績表に替えることができる。	断面図  側面図  平面図 	3-4-3-10
						断面の外形寸法	±5			
						橋 桁 の そり δ_1	±8			
						横方向の曲がり δ_2	±10			

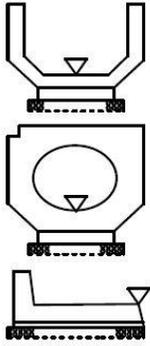
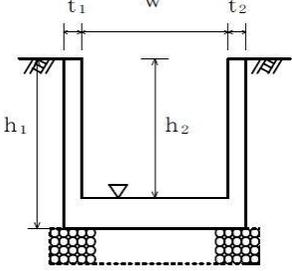
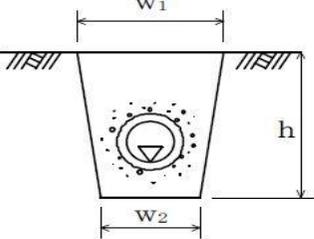
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	3 共通の工種	11	1	ポストテンション桁製作工	幅 (上) w_1	+10 -5	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3ヶ所とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行するJISに基づく試験成績表に替えることができる。 ℓ : 支間長 (m)		3-4-3-11 注) 新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外）の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する
						幅 (下) w_2	±5			
						高 さ h	+10 -5			
						桁 長 ℓ 支間長	$\ell < 15 \dots \pm 10$ $\ell \geq 15 \dots$ $\pm (\ell - 5)$ かつ -30mm以内			
						横方向最大タワミ	0.8 ℓ			
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	3 共通の工種	11	2	プレキャストセグメント桁製作工（購入工）	桁 長 ℓ	—	桁全数について測定。桁断面寸法測定箇所は、図面の寸法表示箇所にて測定。		3-4-3-11
						断面の外形寸法 (mm)	—			
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	3 共通の工種	12		プレキャストセグメント主桁組立工	桁 長 ℓ 支間長	$\ell < 15 \dots \pm 10$ $\ell \geq 15 \dots$ $\pm (\ell - 5)$ かつ -30mm以内	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3ヶ所とする。 ℓ : 支間長 (m)		3-4-3-12
						横方向最大タワミ	0.8 ℓ			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	3 共通の工種	13		PCホロースラブ製作工	基準高 ▽	±20	桁全数について測定。 基準高は、1 径間当たり 2ヶ所（支点付近）で 1 箇所当たり両端と中央部の 3 点、幅及び厚さは 1 径間当たり両端と中央部の 3ヶ所。		3-2-3-13 注) 新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外）の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する
						幅 w_1, w_2	-5～+30			
						厚 さ t	-10～+20			
						桁 長 ℓ	$\ell < 15 \dots \pm 10$ $\ell \geq 15 \dots$ $\pm (\ell - 5)$ かつ -30mm以内	※鉄筋の出来形管理基準については、第3編3-4-16-2床版工に準ずる。 ℓ ：桁長 (m)		
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	3 共通の工種	14	1	PC箱桁製作工	基準高 ▽	±20	桁全数について測定。 基準高は、1 径間当たり 2ヶ所（支点付近）で 1 箇所当たり両端と中央部の 3 点、幅及び高さは 1 径間当たり両端と中央部の 3ヶ所。		3-4-3-14 注) 新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外）の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する
						幅（上） w_1	-5～+30			
						幅（下） w_2	-5～+30			
						内空幅 w_3	±5	※鉄筋の出来形管理基準については、第3編3-4-16-2床版工に準ずる。 ℓ ：桁長 (m)		
						高 さ h_1	+10 -5			
						内空高さ h_2	+10 -5			
						桁 長 ℓ	$\ell < 15 \dots \pm 10$ $\ell \geq 15 \dots$ $\pm (\ell - 5)$ かつ -30mm以内			

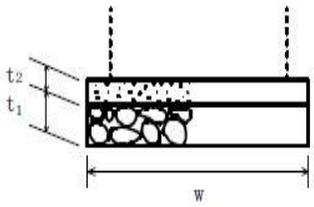
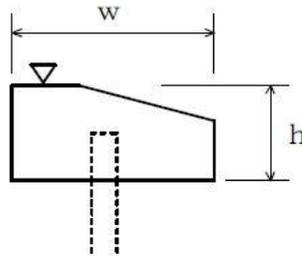
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木 工事共通 編	4 一般施 工	3 共通の 工種	16		沈床工	基準高 ∇	± 150	1組毎		3-4-3-16
						幅 w	± 300			
						延長 L	-200			
3 森林土木 工事共通 編	4 一般施 工	3 共通の 工種	17		捨石工	基準高 ∇	-100	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-4-3-17
						幅 w	-100			
						延長 L	-200			
3 森林土木 工事共通 編	4 一般施 工	3 共通の 工種	19		階段工	幅 w	-30	1回/1施工箇所		3-4-3-19
						高さ h	-30			
						長さ L	-30			
						段数	± 0 段			
3 森林土木 工事共通 編	4 一般施 工	3 共通の 工種	21	1	伸縮装置工 (ゴムジョイント)	据付け高さ	± 3	車道端部及び中央部付近の3点を測定。 表面の凹凸は長手方向(橋軸直角方向)に3mの直線定規で測って凹凸が3mm以下		3-4-3-21
						表面の凹凸	3			
						仕上げ高さ	舗装面に対し0 ~-2			

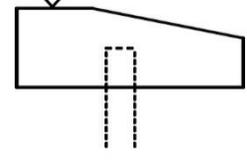
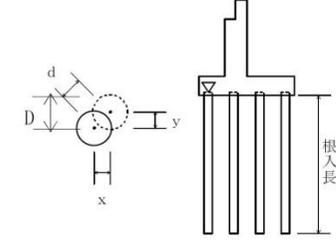
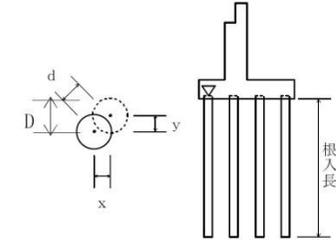
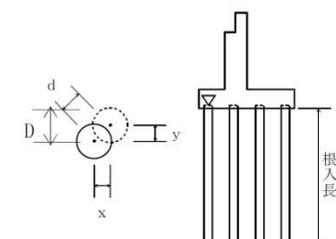
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 森林土木 工事共通編	4 一般 施工	3 共通 的工 種	21	2	伸縮装置工 (鋼製フィンガージョ イント)	高さ	据付け高さ	±3	高さについては車道端部、中央部にお いて車線方向に各3点計9点 表面の凹凸は長手方向(橋軸直角方 向)に3mの直線定規で測って凹凸が 3mm以下 歯咬み合い部は車道端部、中央部の計 3点		3-4-3-21
						高さ	車線方向各点 誤差の相対差	3			
							表面の凹凸	3			
							歯型板面の歯咬み合い 部の高低差	2			
							歯咬み合い部の縦方向 間隔W1	±2			
							歯咬み合い部の横方向 間隔W2	±5			
	仕上げ高さ	舗装面に対し0 ~-2									
3 森林土木 工事共通編	4 一般 施工	3 共通 的工 種	23	1	環境配慮型護岸工 (巨石張り, 巨石積み)	基準高	▽	±500	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ 所。		3-4-3-23
						法長	ℓ	-200			
						延長	L	-200			
3 森林土木 工事共通編	4 一般 施工	3 共通 的工 種	23	2	環境配慮型護岸工 (かごマット)	法長	ℓ	-100	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ 所。		3-4-3-23
						厚さ	t	-0.2t			
						延長	L	-200			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	3 共通の工種	24	1	羽口工 (じゃかご)	法長 ϕ	$\phi < 3m$	-50	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-4-3-24
							$\phi \geq 3m$	-100			
						厚 さ t	-50				
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	3 共通の工種	24	2	羽口工 (ふとんかご、かご 枠)	高 さ h	-100	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-4-3-24	
						延 長 L ₁ , L ₂	-200				
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	3 共通の工種	25		プレキャストカルパ ート工 (プレキャストボック ス工) (プレキャストパイプ 工)	基 準 高 ∇	±30	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 ※印は、現場打部分のある場合。		3-4-3-25	
						※幅 w	-50				
						※高 さ h	-30				
						延 長 L	-200				
								1 施工箇所毎			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	3 共通の工種	26	1	側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝工) (自由勾配側溝) (管渠)	基準高 ∇	± 30	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-4-3-26
						延長 L	-200			
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	3 共通の工種	26	2	側溝工 (場所打水路工)	基準高 ∇	± 30	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-4-3-26
						厚さ t_1, t_2	-20			
						幅 w	-30			
						高さ h_1, h_2	-30			
						延長 L	-200			
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	3 共通の工種	26	3	側溝工 (暗渠工)	基準高 ∇	± 30	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-4-3-26
						幅 w_1, w_2	-50			
						深 さ h	-30			
						延長 L	-200			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	3 共通の工種	27		集水枿工	基準高 ▽	±30	1ヶ所毎 ※は、現場打部分のある場合		3-4-3-27
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20			
						※幅 w_1, w_2	-30			
						※高さ h_1, h_2	-30			
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	3 共通の工種	28		現場塗装工	塗 膜 厚	<p>a. ロットの塗膜厚平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上。</p> <p>b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。</p> <p>c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%以下。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。</p>	<p>塗装終了時に測定。</p> <p>1ロットの大きさは500m²とする。</p> <p>1ロット当たりの測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。ただし、1ロットの面積が200m²に満たない場合は10m²ごとに1点とする。</p>	3-4-3-28	

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	4 基礎工	1		一般事項 (切込砂利) (碎石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 w	設計値以上	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-4-4-1
						厚 さ t ₁ , t ₂	-30			
						延 長 L	各構造物の規格値による			
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	4 基礎工	3	1	基礎工(護岸) (現場打)	基 準 高 ▽	±30	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-4-4-3
						幅 w	-30			
						高 さ h	-30			
						延 長 L	-200			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	4 基礎工	3	2	基礎工（護岸） （プレキャスト）	基準高 ▽	±30	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-4-4-3
						延長 L	-200			
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	4 基礎工	4	1	既製杭工 （既製コンクリート杭） （鋼管杭） （H鋼杭）	基準高 ▽	±50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	3-4-4-4
						根入長	設計値以上			
						偏心量 d	D/4以内かつ100以内			
						傾斜	1/100以内			
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	4 基礎工	4	2	既製杭工 （鋼管ソイルセメント杭）	基準高 ▽	±50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	3-4-4-4
						根入長	設計値以上			
						偏心量 d	100以内			
						傾斜	1/100以内			
						杭径 D	設計値以上			
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	4 基礎工	5		場所打杭工	基準高 ▽	±50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	3-4-4-5
						根入長	設計値以上			
						偏心量 d	100以内			
						傾斜	1/100以内			
						杭径 D	設計径（公称径） -30以上			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林 土木 工事 共通 編	4 一 般 施 工	4 基 礎 工	6		深礎工	基 準 高 ▽	±50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	3-4-4-6
						根 入 長	設計値以上			
						偏 心 量 d	150以内			
						傾 斜	1/50以内			
3 森林 土木 工事 共通 編	4 一 般 施 工	4 基 礎 工	7		オープンケーソン基礎工	基 準 高 ▽	±100	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量については各打設ロットごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	3-4-4-7
						ケーソンの長さℓ	-50			
						ケーソンの幅 w	-50			
						ケーソンの高さh	-100			
						ケーソンの壁厚 t	-20			
						偏 心 量 d	300以内			
3 森林 土木 工事 共通 編	4 一 般 施 工	4 基 礎 工	8		ニューマチックケーソン基礎工	基 準 高 ▽	±100	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量については各打設ロットごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	3-4-4-8
						ケーソンの長さℓ	-50			
						ケーソンの幅 w	-50			
						ケーソンの高さh	-100			
						ケーソンの壁厚 t	-20			
						偏 心 量 d	300以内			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 森林 土木 工事 共通 編	4 一 般 施 工	4 基 礎 工	9		鋼管矢板基礎工	基 準 高 ∇	± 100	基準高は、全数を測定。 偏心量は、1基ごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	3-4-4-9	
						根 入 長	設計値以上				
						偏 心 量 d	300以内				
3 森林 土木 工事 共通 編	4 一 般 施 工	5 石・ ブ ロ ッ ク 積 張 工	3	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック張り)	基 準 高 ∇	± 50	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 厚さは上端部及び下端部の2ヶ所を測定。		3-4-5-3	
						法長 ℓ	$\ell < 3\text{m}$				-50
							$\ell \geq 3\text{m}$				-100
						厚さ(ブロック積張) t_1					-20
						厚さ(裏込) t_2					-30
						延 長 L					-200
						のり勾配 i					± 0.3 分
3 森林 土木 工事 共通 編	4 一 般 施 工	5 石・ ブ ロ ッ ク 積 張 工	3	2	コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)	基 準 高 ∇	± 50	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-4-5-3	
						法 長 ℓ	-100				
						延 長 L_1, L_2	-200				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3	4	5	3	3	コンクリートブロック工 (天端保護ブロック)	基準高 ∇	± 50	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-4-5-3	
						幅 w	-100				
						延長 L	-200				
3	4	5	4		緑化ブロック工	基準高 ∇	± 50	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 厚さは上端部及び下端部の2ヶ所を測定。		3-4-5-4	
						法長 l	$l < 3m$				-50
							$l \geq 3m$				-100
						厚さ(ブロック) t_1	-50				
						厚さ(裏込) t_2	-50				
						延長 L	-200				
のり勾配 i	± 0.3 分										
3	4	5	5		石積(張)工	基準高 ∇	± 50	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 厚さは上端部及び下端部の2ヶ所を測定。		3-4-5-5	
						法長 l	$l < 3m$				-50
							$l \geq 3m$				-100
						厚さ(石積・張) t_1	-50				
						厚さ(裏込) t_2	-50				
						延長 L	-200				
のり勾配 i	± 0.3 分										

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林 土木 工事 共通 編	4 一般 施工	6 一般 舗装 工	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±50	基準高、幅は、延長40mにつき 1ヶ所の割合で測定する。 延長40m以下のものは、2箇所測 定する。		3-4-6-7
						厚 さ	-45			
						幅	-50			
							ただし、厚さの測 定値の平均は、-15 以内とする。			
3 森林 土木 工事 共通 編	4 一般 施工	6 一般 舗装 工	7	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒 度調整路盤工	厚 さ	-30	基準高、幅は、延長40mにつき 1ヶ所の割合で測定する。 延長40m以下のものは、2箇所測 定する。		3-4-6-7
						幅	-50			
							ただし、厚さの測 定値の平均は、-10 以内とする。			

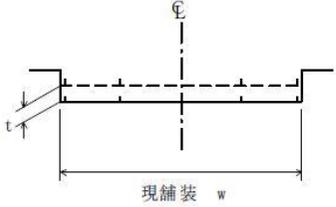
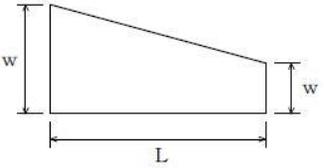
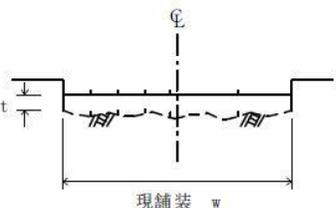
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木 工事共通 編	4 一般施 工	6 一般舗 装工	7	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰) 安定処理工	厚 さ	-30	厚さは、500 m ² に1個の割合でコア ーを採取もしくは掘り起こして測定 する。 幅は、延長40mにつき1ヶ所の割合 で測定する。 延長40m以下のものは2箇所測定す る。		3-4-6-7
						幅	-50			
							ただし、厚さの 測定値の平均 は、-10以内と する。			
3 森林土木 工事共通 編	4 一般施 工	6 一般舗 装工	7	4	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	厚 さ	-20	厚さは、500 m ² に1個の割合でコア ーを採取して測定する。 幅は、延長40mにつき1ヶ所の割合 で測定する。 延長40m以下のものは2箇所測定す る。		3-4-6-7
						幅	-50			
							ただし、厚さの 測定値の平均 は、-7以内と する。			

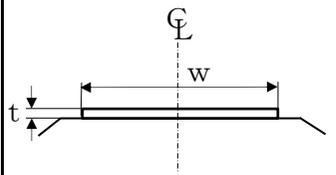
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3	4	6	7	6	アスファルト舗装工 (基層工・表層工)	厚 さ	-9	厚さは、500 m ² に1個の割合でコア ーを採取して測定する。 幅は、延長40mにつき1ヶ所の割合 で測定する。 延長40m以下のものは2箇所測定す る。		3-4-6-7
						幅	-25			
						平 坦 性	3m ² プロフィールメーター (σ)2.4mm以下 直読式(足付き) (σ)1.75mm以下			
							ただし、厚さ の測定値の平均は、-3以内 とする。			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	6 一般舗装工	8	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±50	基準高、幅は、延長40mにつき1ヶ所の割合で測定する。 延長40m以下のものは2箇所測定する。		3-4-6-8
						厚 さ	-45			
						幅	-50			
							ただし、厚さの測定値の平均は-15以内とする。			
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	6 一般舗装工	8	2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	厚 さ	-30	基準高、幅は、延長40mにつき1ヶ所の割合で測定する。 延長40m以下のものは2箇所測定する。		3-4-6-8
						幅	-50			
							ただし、厚さの測定値の平均は-8以内とする。			

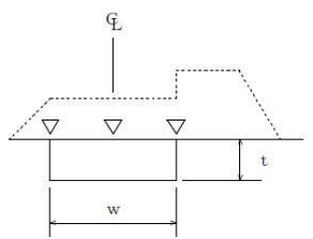
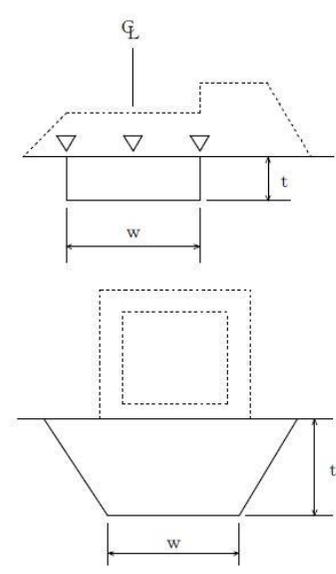
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木 工事共通 編	4 一般施 工	6 一般舗 装工	8	3	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・ 瀝青)安定処理工)	厚 さ	-30	厚さは、500 m ² に1個の割合でコア ーを採取もしくは掘り起こして測定 する。 幅は、延長40mにつき1ヶ所の割合 で測定する。 延長40m以下のものは2箇所測定す る。		3-4-6-8
						幅	-50			
							ただし、厚さの 測定値の平均 は、-8以内とす る。			
3 森林土木 工事共通 編	4 一般施 工	6 一般舗 装工	8	4	コンクリート舗装工 (アスファルト中間 層)	厚 さ	-12	厚さは、500 m ² に1個の割合でコア ーを採取して測定する。 幅は、延長40mにつき1ヶ所の割合 で測定する。 延長40m以下のものは2箇所測定す る。		3-4-6-8
						幅	-25			
							ただし、厚さの 測定値の平均 は、-3以内と する。			

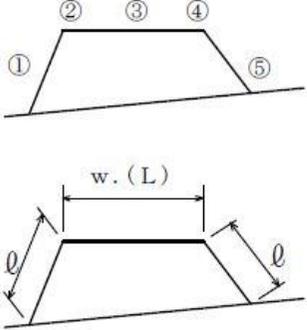
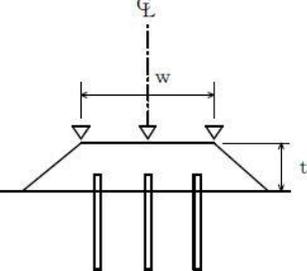
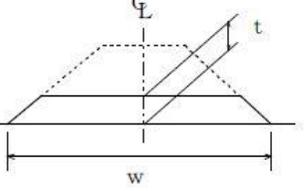
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森 林 土 木 工 事 共 通 編	4 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	5	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	厚 さ	-10	厚さは、500 m ² に1個の割合でコア ーを採取して測定する。 幅は、延長40mにつき1ヶ所の割合 で測定する。 延長40m以下のものは2箇所測定す る。		3-4-6-8
							ただし、厚さの 測定値の平均 は、-3.5以内と する。			
						幅	-25			
						平 坦 性	コンクリート の硬化後 3mプロフィール メーターによ り機械舗設の 場合 (σ)2.4mm以下 人力舗設の場 合 (σ)3mm以下			
		目地段差	±2	隣接する各目地に対して、道路中心線 及び端部で測定。						

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)	平均の測定値 (X ₁₀)			
3	4	6	9		路面切削工	厚 さ t	-7	-2	厚さは40m毎に現舗装高切削後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 延長40m未満の場合は、2ヶ所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。 測定方法は自動横断測定法によることが出来る。		3-4-6-9
						幅 w	-25	—			
3	4	6	10		舗装打換え工	路盤工	幅 w	-50	各層毎1ヶ所/1施工箇所		3-4-6-10
							厚さ t	該当工種			
						舗設工	幅 w	-25			
							厚さ t	該当工種			
3	4	6	11		オーバーレイ工	厚 さ t	-9	厚さは40m毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、延長80m未満の場合は、2ヶ所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。		3-4-6-11	
						幅 w	-25				
						平坦性	—				3m ² プロファイルメータ(σ)2.4mm以下直読式(足付き) (σ)1.75mm以下

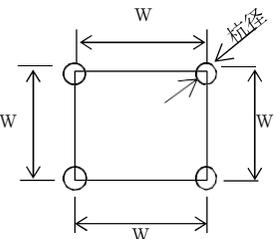
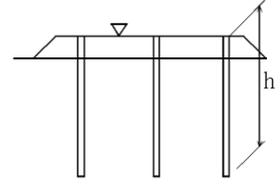
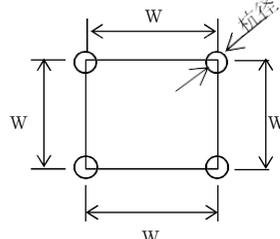
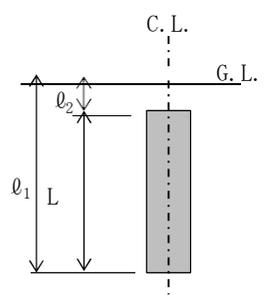
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3	4	6	14		砂利路盤工	幅 w	-50	施工延長40mにつき1箇所割合で測定する。 延長40m以下のものは2箇所測定する。	 <p>The diagram shows a cross-section of a sand gravel base layer. A horizontal line represents the top surface, with a double-headed arrow labeled 'w' indicating the width. A vertical dashed line labeled 'CL' indicates the centerline. Below the surface, a horizontal line represents the bottom surface, with a double-headed arrow labeled 't' indicating the thickness. The bottom surface is shown with a slight slope on both ends.</p>	3-4-6-14
						厚さ t	-10%			

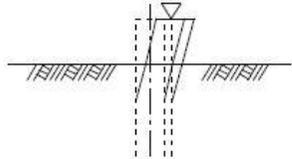
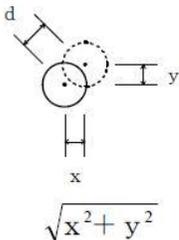
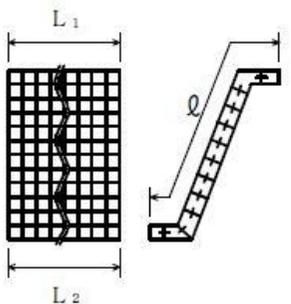
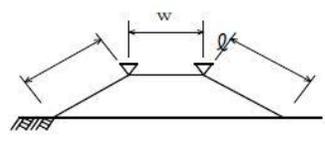
出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	7 地盤改良工	2		路床安定処理工	基 準 高 ∇	± 50	延長40m毎に1ヶ所の割で測定。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。 厚さは中心線及び端部で測定。		3-4-7-2
						施 工 厚 さ t	-50			
						幅 w	-100			
						延 長 L	-200			
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	7 地盤改良工	3		置換工	基 準 高 ∇	± 50	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 厚さは中心線及び端部で測定。		3-4-7-3
						置 換 厚 さ t	-50			
						幅 w	-100			
						延 長 L	-200			

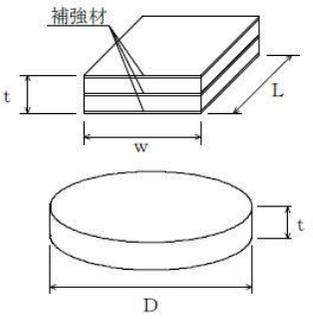
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	7 地盤改良工	4		表層安定処理工 (サンドマット海上)	基準高 ∇	特記仕様書に明示	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。 w. (L)は施工延長40mにつき1ヶ所、80m以下のものは1施工箇所につき3箇所。 (L)はセンターライン及び表裏法肩で行う。		3-4-7-4
						法 長 ℓ	-500			
						天 端 幅 w	-300			
						天端延長 L	-500			
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	7 地盤改良工	5		パイルネット工	基準高 ∇	± 50	施工延長40mにつき1ヶ所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして測定。 杭については、当該杭の項目に準ずる。		3-4-7-5
						厚 さ t	-50			
						幅 w	-100			
						延 長 L	-200			
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	7 地盤改良工	6		サンドマット工	施工厚さ t	-50	施工延長40mにつき1ヶ所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして測定。		3-4-7-6
						幅 w	-100			
						延 長 L	-200			

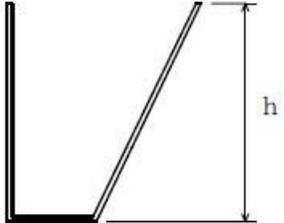
単位：mm

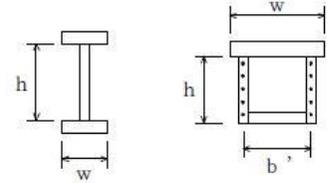
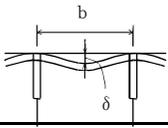
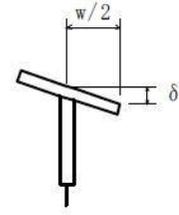
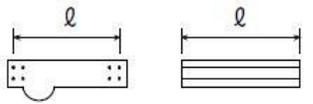
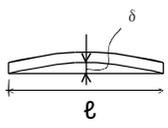
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林 土木 工事 共通 編	4 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	7		パーチカルドレーン工 (サンドドレーン工)	位置・間隔w	±100	100本に1ヶ所。 100本以下は2ヶ所測定。1ヶ所に4 本測定。 ただし、ペーパードレーンの杭径は対 象外とする。		3-4-7-7 3-4-7-8
					(ペーパードレーン 工)	杭 径 D	設計値以上			
			(袋詰式サンドドレー ン工)		打 込 長 さ h	設計値以上	全本数			
			8		締め改良工 (サンドコンパクショ ンパイル工)	サンドドレーン、 袋詰式サンドドレーン、 サンドコンパクションパ イルの砂投入量	—	全本数 計器管理にかえることができる。		
										
								※余長は、適用除外		
3 森林 土木 工事 共通 編	4 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	9		固結工 (粉体噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	基 準 高 ▽	-50	100本に1ヶ所。 100本以下は2ヶ所測定。 1ヶ所に4本測定。		3-4-7-9
					位置・間隔w	D/4以内				
					杭 径 D	設計値以上	全本数			
					深 度 L	設計値以上	$L = \ell_1 - \ell_2$ ℓ_1 は改良体先端深度 ℓ_2 は改良端天端深度			
										

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木 工事共通 編	4 一般施 工	10 仮設工	5	1	仮設土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	基 準 高 ∇	±100	基準高は施工延長40mにつき1ヶ所。 延長40m以下のものは、1施工箇所につ き2ヶ所。		3-4-10-5
						根 入 長	設計値以上			
3 森林土木 工事共通 編	4 一般施 工	10 仮設工	5	2	仮設土留・仮締切工 (アンカー工)	削 孔 深 さ \varnothing	設計深さ以上	全数		3-4-10-5
						配 置 誤 差 d	100			
3 森林土木 工事共通 編	4 一般施 工	10 仮設工	5	3	仮設土留・仮締切工 (連節ブロック張り 工)	法 長 \varnothing	-100	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ 所。		3-4-10-5
						延 長 $L_1 L_2$	-200			
3 森林土木 工事共通 編	4 一般施 工	10 仮設工	5	4	仮設土留・仮締切工 (締切盛土)	基 準 高 ∇	-50	施工延長40mにつき1ヶ所。 延長40m以下のものは1施工箇所につ き2ヶ所。		3-4-10-5
						天 端 幅 w	-100			
						法 長 \varnothing	-100			

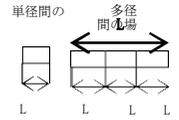
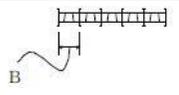
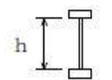
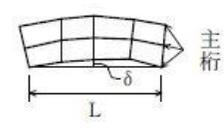
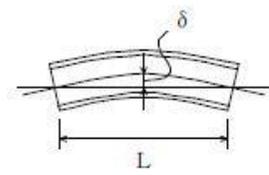
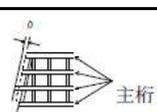
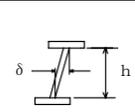
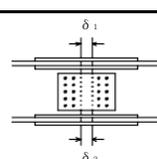
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要			
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	10 仮設工	5	5	仮設土留・仮締切工 (中詰盛土)	基 準 高 ▽	-50	施工延長40mにつき1ヶ所。 延長40m以下のものは、1施工箇所につき2ヶ所。		3-4-10-5			
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	12 工場製作工 共通	1	1	鑄造費 (金属支承工)	上下部鋼構造との接合用ボルト孔	孔の直径差	+2 -0	製品全数を測定。		3-4-12-1		
							中心距離	センターボスを基準にした孔位置のずれ					
								≤1000mm				1以下	
							中心距離	センターボスを基準にした孔位置のずれ					
								>1000mm				1.5以下	
							アンカーボルト用孔	孔の直径				≤100mm	+3 -1
												>100mm	+4 -2
							鑄放し	孔の中心距離				JIS B 0403 CT13	
								センターボス				ボスの直径	+0 -1
							センターボス	ボスの高さ				+1 -0	

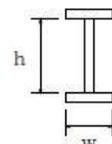
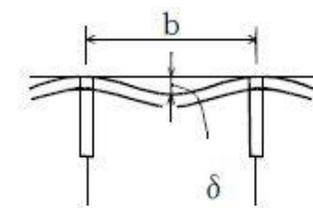
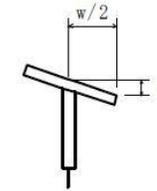
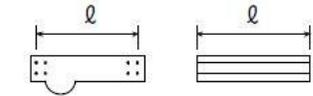
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	12 工場製作工 共通	1	1	鑄造費（金属支承工）	上巻の橋軸及び直角方向の長さ寸法	JIS B 0403 CT13	製品全数を測定。 ※1) 片面削り加工も含む。 ※2) ただし、ソールプレート接触面の橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法に対してはCT13を適用する。		3-4-12-1		
						全移動量 \varnothing	$\varnothing \leq 300\text{mm}$				± 2	
							$\varnothing > 300\text{mm}$				$\pm \varnothing / 100$	
						組立高さ H	上, 下面加工仕上げ				± 3	
							コンクリート構造用				$H \leq 300\text{mm}$	± 3
											$H > 300\text{mm}$	($H / 200 + 3$) 小数点以下切り捨て
						普通寸法	鑄放し長さ寸法 ※1)、※2)				JIS B 0403 CT14	
							鑄放し肉厚寸法 ※1)				JIS B 0403 CT15	
							削り加工寸法				JIS B 0405 粗級	
							ガス切断寸法				JIS B 0417 B級	
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	12 工場製作工 共通	1	2	鑄造費（大型ゴム支承工）	幅 w 長さ L 直径 D	$w, L, D \leq 500$	0~+5	製品全数を測定。 平面度：1個のゴム支承の厚さ（t）の最大相対誤差		3-4-12-1	
							$500 < w, L, D \leq 1500\text{mm}$	0~+1%				
							$1500 < w, L, D$	0~+15				
						厚さ t	$t \leq 20\text{mm}$	± 0.5				
							$20 < t \leq 160$	$\pm 2.5\%$				
							$160 < t$	± 4				
						平面度		1				

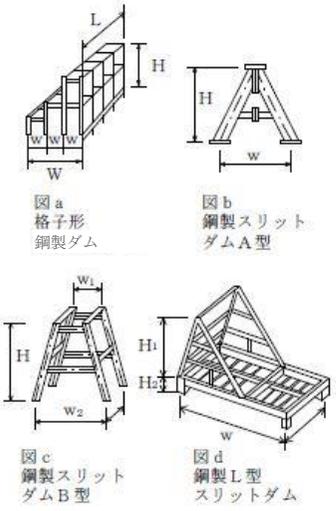
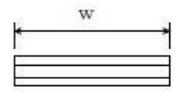
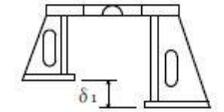
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	12 工場製作工 共通	1	3	仮設材製作工	部 材	部材長 ℓ (m)	$\pm 3 \cdots \ell \leq 10$ $\pm 4 \cdots \ell > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		3-4-12-1
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	12 工場製作工 共通	1	4	刃口金物製作工	刃 口 高 さ h (m)	$\pm 2 \cdots h \leq 0.5$ $\pm 3 \cdots 0.5 < h \leq 1.0$ $\pm 4 \cdots 1.0 < h \leq 2.0$	図面の寸法表示箇所にて測定。		3-4-12-1	
							外周長 L (m)				$\pm (10+L/10)$

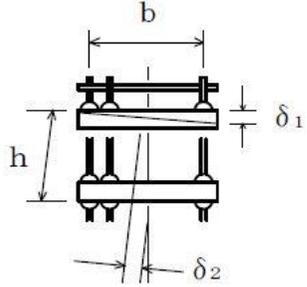
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要		
								鋼桁等	トラス・アーチ等				
3	4	12	3	1	桁製作工 (仮組立による検査を実施する場合) (シミュレーション仮組立検査を行う場合)	部 材 精 度	フランジ幅 w (m)	±2…… ±3……	主桁・主構 各支点及び各支間中央付近を測定。床組など 構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。 なお、JISマーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行するJISに基づく試験成績表に替えることができる。	 I型鋼桁 トラス弦材	3-4-12-3		
							腹板高 h (m) 腹板間隔 b' (m)	$w \leq 0.5$ $0.5 < w \leq 1.0$ $1.0 < w \leq 2.0$ $2.0 < w$				3-4-12-3	
							板の平面度 δ (mm)	鋼桁及びトラス等の部材の腹板		h / 250		h : 腹板高 (mm) b : 腹板又はリブの間隔 (mm) w : フランジ幅 (mm)	
							フランジの直角度 δ (mm)	箱桁及びトラス等のフランジ鋼床版のデッキプレート	b / 150				
							部材長 ℓ (m)	鋼桁	±3… ℓ ≤ 10 ±4… ℓ > 10	原則として仮組立をしない状態の部材について、主要部材全数を測定。			3-4-12-3
								トラス、アーチなど	±2… ℓ ≤ 10 ±3… ℓ > 10				
								圧縮材の曲がり δ (mm)	ℓ / 1000	—		主要部材全数を測定。 ℓ : 部材長 (mm)	
※規格値のwに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「板の平面度 δ, フランジの直角度 δ, 圧縮材の曲り δ」の規格値のh, b, wに代入する数値はmm単位の数値とする。													

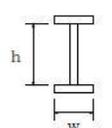
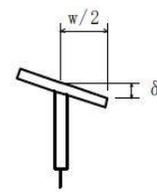
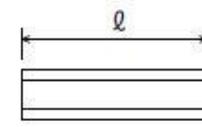
出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要	
								鋼 桁 等	トラス・アーチ等			
3 森林 森林 土木 工事 共通 編	4 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	3	1	桁製作工 (仮組立による検査を実施する場合) (シミュレーション仮組立検査を行う場合)	仮組立精度	全長 L (m) 支間長 Ln (m)	$\pm(10+L/10)$ $\pm(10+Ln/10)$	各桁毎に全数測定。			3-4-12-3
							主桁、主構の中心間距離 B (m)	$\pm 4 \cdots \cdots B \leq 2$ $\pm(3+B/2)$ $\cdots \cdots B > 2$	各支点及び各支間中央付近を測定。			3-4-12-3
							主構の組立高さ h (m)	$\pm 5 \cdots \cdots h \leq 5$ $\pm(2.5+h/2)$ $\cdots \cdots h > 5$	—	両端部及び中心部を測定。		3-4-12-3
							主桁、主構の通り δ (mm)	$5+L/5 \cdots \cdots$ $L \leq 100$ $25 \cdots \cdots L > 100$	最も外側の主桁又は主構について支点及び支間中央の1点を測定。 L：測線上 (m)			3-4-12-3
							主桁、主構のそり δ (mm)	$-5 \sim +5 \cdots \cdots$ $L \leq 20$ $-5 \sim +10 \cdots \cdots$ $20 < L \leq 40$ $-5 \sim +15 \cdots \cdots$ $40 < L \leq 80$ $-5 \sim +25 \cdots \cdots$ $80 < L \leq 200$	各主桁について10～12 m 間隔を測定。 L：主桁の支間長 (m)	各主構の各格点を測定。 L：主構の支間長 (m)		3-4-12-3
							主桁、主構の橋端における出入差 δ (mm)	設計値 ± 10	どちらか一方の主桁（主構）端を測定。			3-4-12-3
							主桁、主構の鉛直度 δ (mm)	$3+h/1000$	各主桁の両端部を測定。 h：主桁の高さ (mm)	支点及び支間中央付近を測定。h：主構の高さ (mm)		3-4-12-3
							現場継手部のすき間 $\delta 1, \delta 2$ (mm)	設計値 ± 5	主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 $\delta 1, \delta 2$ のうち大きいもの 設計値が5mm以下の場合、マイナス側については設計値以上とする。			3-4-12-3
<p>※規格値のL, B, h に代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「主桁、主構の鉛直度 δ」の規格値のhに代入する数値はmm単位の数値とする。</p>												

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要				
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	12 工場製作工 共通	3	2	桁製作工 (仮組立検査を実施しない場合)	部材精度	フランジ幅 w (m)	±2…… w ≤ 0.5 ±3…… 5 < w ≤ 1.0 ±4……	主桁、主構 各支点及び各支間中央付近を測定。 床組など 構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。	 I型鋼桁	3-4-12-3			
							腹板高 h (m)	1.0 < w ≤ 2.0 ±(3+w/2)…… 2.0 < w						
							板の平面度 δ (mm)	鋼桁等の部材の腹板				h / 250	主桁 各支点及び各支間中央付近を測定。 h : 腹板高 (mm) b : 腹板又はリブの間隔 (mm) w : フランジ幅 (mm)	
								箱桁等のフランジ鋼床版のデッキプレート				b / 150		
							フランジの直角度 δ (mm)					w / 200		
							部材長 ℓ (m)	鋼桁				±3…ℓ ≤ 10 ±4…ℓ > 10	主要部材全数を測定。	
※規格値のwに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「板の平面度δ，フランジの直角度δ」の規格値のh，b，wに代入する数値はmm単位の数値とする。														

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要			
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	12 工場製作工共通	3	3	桁製作工 (鋼製ダム製作工(仮組立時))	部材の水平度	10	全数を測定。		3-4-12-3			
						堤 長 L	±30						
						堤 長 ℓ	±10						
						堤 幅 W	±30						
						堤 幅 w	±10						
						高 さ H	±10						
						ベースプレートの高さ	±10						
						本体の傾き	±H/500						
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	12 工場製作工共通	4		検査路製作工	部材	部材長 ℓ (m)	$\pm 3 \cdots \ell \leq 10$ $\pm 4 \cdots \ell > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。	3-4-12-4			
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	12 工場製作工共通	5		鋼製伸縮継手製作工	部材	部材長w (m)	0～+30	製品全数を測定。		3-4-12-5		
						仮組立時	組合せる伸縮装置との高さの差 δ_1 (mm)	設 計 値 ±4				両端及び中央部付近を測定。	
							フィンガーの食い違い δ_2 (mm)	±2					

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木 工事共通 編	4 一般 施工	12 工場 製作工 共通	6		落橋防止装置製作工	部材	部材長 l (m)	$\pm 3 \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots l > 10$	図面の寸法表示箇所 で測定。		3-4-12-6
3 森林土木 工事共通 編	4 一般 施工	12 工場 製作工 共通	7		橋梁用防護柵製作工	部材	部材長 l (m)	$\pm 3 \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots l > 10$	図面の寸法表示箇所 で測定。		3-4-12-7
3 森林土木 工事共通 編	4 一般 施工	12 工場 製作工 共通	8		アンカーフレーム製作工	仮組立時	上面水平度 $\delta 1$ (mm)	$b/500$	軸心上全数測定。		3-4-12-8
							鉛直度 $\delta 2$ (mm)	$h/500$			
							高さ h (mm)	± 5			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	12 工場製作工 共通	9		プレビーム用桁製作工	部 材	フランジ幅 w (m) 腹板高 h (m)	$\pm 2 \dots$ $w \leq 0.5$ $\pm 3 \dots$ $0.5 < w \leq 1.0$ $\pm 4 \dots$ $1.0 < w \leq 2.0$ $\pm (3 + w/2) \dots$ $2.0 < w$	各支点及び各支間中央付近を測定。	 I型鋼桁	3-4-12-9
							フランジの直角度 δ (mm)	$w/200$	各支点及び各支間中央付近を測定。		3-4-12-9
							部材長 l (m)	$\pm 3 \dots l \leq 10$ $\pm 4 \dots l > 10$	原則として仮組立をしない部材について主要部材全数で測定。		3-4-12-9
							仮組立時 主桁のそり δ	$-5 \sim +5$ $\dots L \leq 20$ $-5 \sim +10$ $\dots 20 < L \leq 40$	各主桁について10～12m間隔を測定。		3-4-12-9

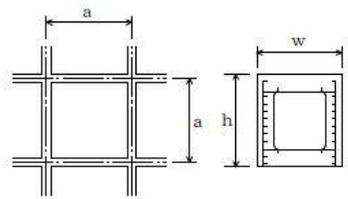
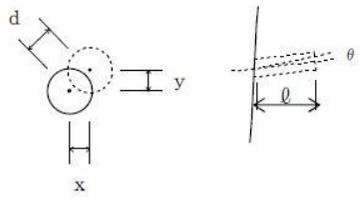
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 森林土木工事 共通編	4 一般施工	12 工場製作工 共通	10		鋼製排水管製作工	部材	部材長 l (m)	$\pm 3 \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		3-4-12-10
3 森林土木工事 共通編	4 一般施工	12 工場製作工 共通	11		工場塗装工	塗膜厚	<p>a. ロット塗膜厚の平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上。</p> <p>b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。</p> <p>c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%以下。 ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。</p>	<p>外面塗装では、無機ジンクリッチペイントの塗付後と上塗り終了時に測定し、内面塗装では内面塗装終了時に測定。</p> <p>1ロットの大きさは、500m²とする。 1ロット当たり測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。ただし、1ロットの面積が200m²に満たない場合は10m²ごとに1点とする。</p>		3-4-12-11	

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森 林 土 木 工 事 共 通 編	4 一 般 施 工	13 橋 梁 架 設 工			架設工（鋼橋） （クレーン架設） （ケーブルクレーン架設） （ケーブルエレクション架設） （架設桁架設） （送出し架設） （トラベラークレーン架設）	全長 L (m)	$\pm (20+L/5)$ $\pm (20+L_n/5)$	各桁毎に全数測定。		3-4-13
						支間長 L _n (m)				
						通り δ (mm)	$\pm (10+2L/5)$	L：主桁・主構の支間長(m)		
						そり δ (mm)	$\pm (25+L/2)$	主桁、主構を全数測定。 L：主桁・主構の支間長(m)		
						※主桁、主構の中心間距離B(m)	$\pm 4 \cdots \cdots B \leq 2$ $\pm (3+B/2) \cdots B > 2$	各支点及び各支間中央付近を測定。		
						※主桁の橋端における出入差 δ (mm)	設計値 ±10	どちらか一方の主桁（主構）端を測定。		
						※主桁、主構の鉛直度 δ (mm)	$3+h/1000$	各主桁の両端部を測定。h：主桁・主構の高さ(mm)		
						※現場継手部のすき間 δ ₁ , δ ₂ (mm)	設計値 ±5	主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 δ ₁ , δ ₂ のうち大きいもの 設計値が5mm以下の場合、マイナス側については設計値以上とする。		
								※は仮組立検査を実施しない工事に適用。		

※規格値のL, Bに代入する数値はm単位の数値である。
ただし、「主げた、主構の鉛直度 δ」の規格値のhに代入する数値はmm単位の数値とする。

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要						
3 森林 土木 工事 共通 編	4 一 般 施 工	13 橋 梁 架 設 工			架設工 (コンクリート橋) (クレーン架設) (架設桁架設) 架設工支保工 (固定) (移動) 架設桁架設 (片持架設) (押し架設)	全 長・支 間	—	各桁毎に全数測定。		3-4-13						
						桁の中心間距離	—	一連毎の両端及び支間中央について各上下間を測定。								
						そ り	—	主桁を全数測定。								
3 森林 土木 工事 共通 編	4 一 般 施 工	14 法 面 工 共 通	2	1	植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (植生シート工) (植生マット工) (植生筋工)	切土法長 ℓ	ℓ<5m	-200	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。	3-4-14-2						
							ℓ≥5m	法長の-4%								
						盛土法長 ℓ	ℓ<5m	-100								
							ℓ≥5m	法長の-2%								
						延 長 L	-200	1 施工箇所毎								
						被覆率	70%以上	1,000㎡に1箇所								
3 森林 土木 工事 共通 編	4 一 般 施 工	14 法 面 工 共 通	2	2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	法長 ℓ	ℓ<5m	-200	施工延長40mにつき1ヶ所、40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。	3-4-14-2						
							ℓ≥5m	法長の-4%								
						厚さ t	t<5cm	-10			施工面積200㎡につき1ヶ所、面積200㎡以下のものは、1施工箇所につき2ヶ所。 検査孔により測定。					
							t≥5cm	-20								
						ただし、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上。						延 長 L	-200	1 施工箇所毎		
						被覆率	70%以上	1,000㎡に1箇所								

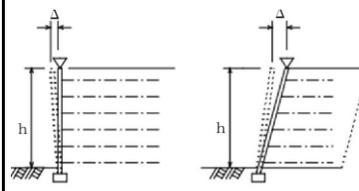
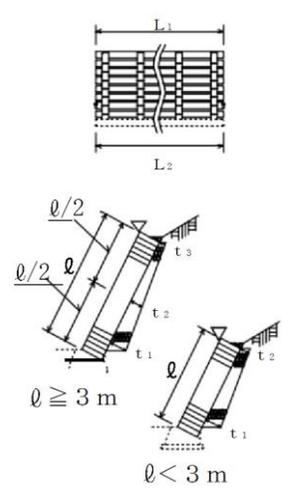
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 森 林 土 木 工 事 共 通 編	4 一 般 施 工	14 法 面 工 共 通	3		吹付工 (コンクリート) (モルタル)	法長 ℓ	$\ell < 3\text{m}$	-50	施工延長40mにつき1ヶ所、40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。測定断面に凹凸があり、曲線法長の測定が困難な場合は直線法長とする。		3-4-14-3
							$\ell \geq 3\text{m}$	-100			
						厚さ t	$t < 5\text{cm}$	-10	200㎡につき1ヶ所以上、200㎡以下は2ヶ所をせん孔により測定。		
							$t \geq 5\text{cm}$	-20			
							ただし、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上				
						延 長 L		-200	1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	14 法面工共通	4	1	法粋工 (現場打法粋工) (現場吹付法粋工)	法長 ℓ	$\ell < 10\text{m}$	-100	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-4-14-4 曲線部は設計図書による
							$\ell \geq 10\text{m}$	-200			
						幅	w	-30	粋延延長100mにつき1ヶ所、粋延延長100m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		
						高さ	h	-30			
						粋中心間隔	a	± 100			
延長	L	-200	1施工箇所毎								
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	14 法面工共通	4	2	法粋工 (プレキャスト法粋工)	法長 ℓ	$\ell < 10\text{m}$	-100	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-4-14-4
							$\ell \geq 10\text{m}$	-200			
						延長	L	-200	1施工箇所毎		
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	14 法面工共通	5		アンカー工	削孔深さ	ℓ	設計値以上	全数		3-4-14-5
						配置誤差	d	100			
						せん孔方向	θ	± 2.5 度			

$$d = \sqrt{x^2 + y^2}$$

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 森林土木 工事共通 編	4 一般施 工	15 擁壁工 共通	1		(一般事項) 場所打擁壁工	基 準 高 ∇	± 50	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ 所。		3-4-15-1	
						厚 さ t	-20				
						裏 込 厚 さ	-50				
						幅 w_1, w_2	-30				
						高 さ h	$h < 3m$				-50
							$h \geq 3m$				-100
						のり勾配 i	± 0.2 分				
延 長 L	-200	1 施工箇所毎									
3 森林土木 工事共通 編	4 一般施 工	15 擁壁工 共通	2		プレキャスト擁壁工	基 準 高 ∇	± 50	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ 所。		3-4-15-2	
						延 長 L	-200				1 施工箇所毎

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	15 擁壁工 共通	3		補強土壁工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	基 準 高 ∇	± 50	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-4-15-3	
						高 さ h	$h < 3\text{m}$				-50
							$h \geq 3\text{m}$				-100
						鉛直度 Δ	$\pm 0.03h$ かつ ± 300 以内				
						控 え 長 さ	設計値以上				
						延 長 L	-200				1 施工箇所毎
3 森林土木工事共通編	4 一般施工	15 擁壁工 共通	4		井桁ブロック工	基 準 高 ∇	± 50	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-4-15-4	
						のり長 l	$l < 3\text{m}$				-50
							$l \geq 3\text{m}$				-100
						厚 さ $t_1 t_2 t_3$	-50				
						延 長 $L_1 L_2$	-200				1 施工箇所毎

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 森林土木 工事共通編	4 一般施 工	16 床版 工	2		床版工	基 準 高 ▽	±20	基準高は、1径間当たり2ヶ所（支点付近）で、1箇所当たり両端と中央部の3点、幅は1径間当たり3ヶ所、厚さは型枠設置時におおむね10㎡に1ヶ所測定。 （床版の厚さは、型枠検査をもって代える。）		3-4-16-2
						幅 w	0～+30			
						厚 さ t	-10～+20			
						鉄筋のかぶり	設計値以上	1径間当たり3断面（両端及び中央）測定。1断面の測定箇所は断面変化毎1ヶ所とする。		
						鉄筋の有効高さ	±10			
						鉄 筋 間 隔	±20	1径間当たり3ヶ所（両端及び中央）測定。 1ヶ所の測定は、橋軸方向の鉄筋は全数、橋軸直角方向の鉄筋は加工形状毎に2mの範囲を測定。		
上記、鉄筋の有効高さがマイナスの場合	±10									

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
4	2	4	5							
4	2	4	6							
4	2	5	4							

省 略

出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
4	2	5	5		省 略					
4	2	7	2							
4	2	8	2							

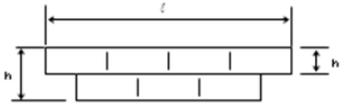
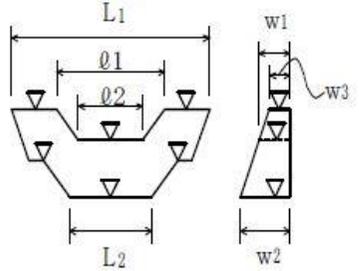
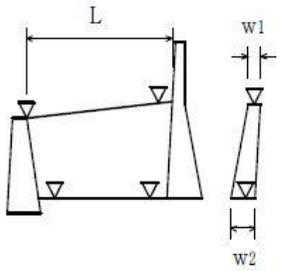
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
4	3	3	4		省 略					
4	3	3	5							
4	3	4	2							

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
4	3	4	5		省 略					
4	3	4	9							
4	3	4	10							

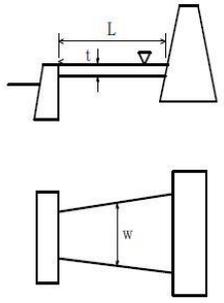
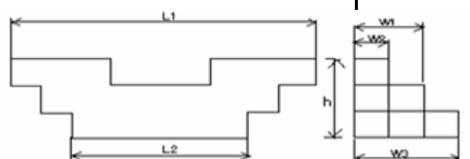
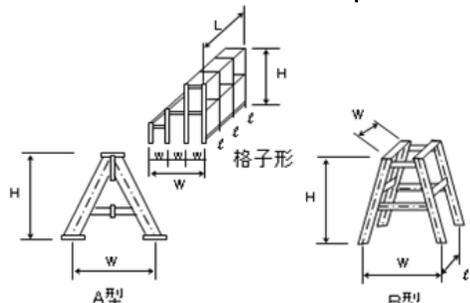
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
4	3	4	11	1	省 略					
4	3	4	11	2						
4	3	4	11	3						

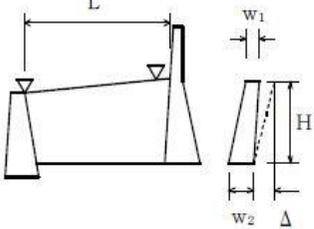
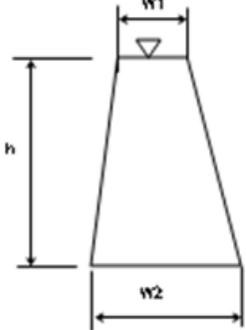
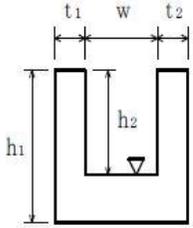
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
4	3	4	12	1	省 略					
4	3	4	12	2						
4	3	4	12	3						
4	3	5	2							

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
4	3	5	3		省 略					
4	3	6	3							
4	4	3	3							

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
4	5	4	1			省 略				
5	3	3	6		かご工	幅 (厚さ)	-50	延長は全箇所 高さ又は径については段数及び長さの異なる毎に測定する。 又、同一段数及び長さの延長が20mを超える場合は、20m毎に測定する。 なお、各個の寸法については、全個数の10%程度とする。		5-3-3-6
						高さ (法長)	L/50 -100~-200			
						長さ	L/50 -100~-300			
5	3	5	4		コンクリート治山ダム 本体工	基 準 高 ▽	±30	図の表示箇所にて測定 1. 設計図 (構造図、標準図模式図等) に表示してある箇所を測定。 2. 個々の測定値が基準を超えた場合でも機能、構造上支障がないと認められる場合には承認することが出来る。 3. この基準によりがたい場合、監督職員の指示による。		5-3-5-4
						高さ h	-30			
						幅 (厚さ) W (t)	-30			
						堤長 L, ℓ	L/300 -50~-150			
						法勾配	±0.2分			
5	3	5	6		コンクリート側壁工	基 準 高 ▽	±30	図の表示箇所にて測定		5-3-5-6
						高さ h	-30			
						幅 w ₁ , w ₂	-30			
						長 さ L	L/300 -50~-150			
						法勾配	±0.2分			

出来形管理基準及び規格値

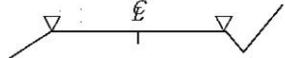
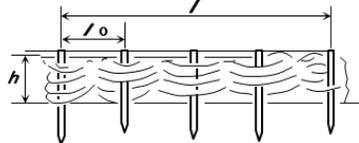
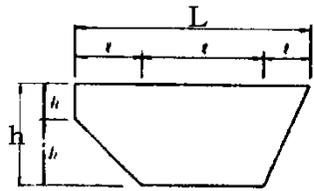
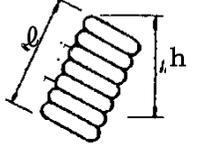
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
5	3	5	8		水叩工	基準高 ∇	± 30	図の表示箇所で測定		5-3-5-8	
						高さ h	-30				
						幅 w	-30				
						厚 さ t	-30				
						延 長 L	L/300 -50~-150				
5	3	6	5	1	鋼製ダム本体内工 (不透過型)	高さ h ∇	-50	鋼製ダム（枠工タイプ）は図面の表示箇所 で測定。		5-3-6-5	
						長さ L_1, L_2	L/300 -50~-100				
						幅(厚さ) w_1, w_3	-50				
						法勾配	± 0.2 分				
5	3	6	5	2	鋼製ダム本体内工 (透過型)	堤長	L 格子形	± 50	(備考) 格子形：格子型鋼製ダム A型：鋼製スリットダム A型 B型：鋼製スリットダム B型		5-3-6-5
							\emptyset 格子形・B	± 10			
						堤幅	W 格子形	± 30			
							w 格子形・A・B	± 10			
						高さ	H 格子形・A・B	± 10			

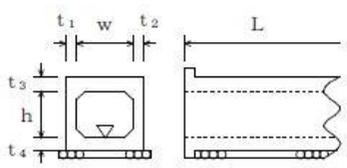
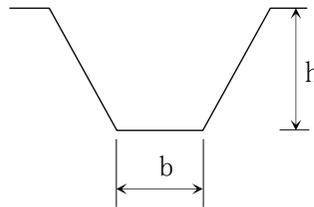
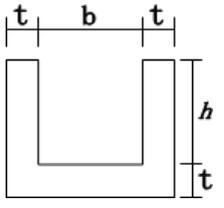
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
5	3	6	6		鋼製側壁工	堤 高 ▽	±50	1. 図面に表示してある箇所測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		5-3-6-6	
						長 さ L	±100				
						幅 w ₁ , w ₂	±50				
						下流側倒れ ∟	±0.02H				
						高さ h	h < 3m				-50
							h ≥ 3m				-100
5	3	7	6		木製治山ダム本體工	長 さ L	L/50 -100~-400	図面の表示箇所測定。断面、形状等の変化点毎に測定する。		5-3-7-6	
						幅(厚さ) w	-50				
						法勾配	±0.5分				
						高 さ h	-100				
5	4	4	8		魚道工	基 準 高 ▽	±30	施工延長40mにつき1ヶ所、 延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		5-4-4-8	
						幅 w	-30				
						高 さ h ₁ , h ₂	-30				
						厚 さ t ₁ , t ₂	-20				
						延 長 L	-200				

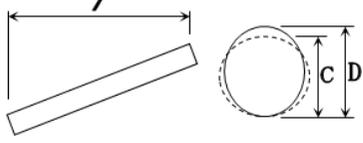
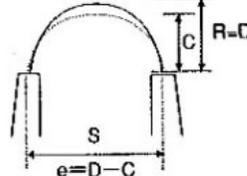
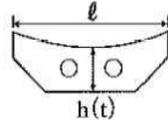
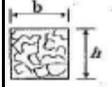
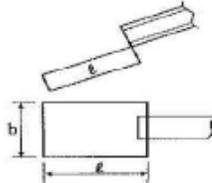
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
5	5	6	3		コンクリート土留工	基準高 ▽	±50	図面の表示箇所にて測定。断面、形状等の変化点毎に測定する。		5-5-6-3	
						高さ h	$h < 3\text{m}$				-50
							$h \geq 3\text{m}$				-100
						幅(厚さ) w_1, w_2					-30
						長さ L					L/300 -50~150
						法勾配					±0.2分
5	5	6	5		石積及びコンクリートブロック積土留工	基準高 ▽	±50	図面の表示箇所にて測定。断面、形状等の変化点毎に測定する。		5-5-6-5	
						高さ h	-50				
						長さ L	L/100 -50~-200				
						法勾配	±0.3分				
						幅(厚さ) W、t	t1				-30
t2	-30										
5	5	8	3		鋼製落石防止壁工	基準高 ▽	±50	図面の表示箇所にて測定。		5-5-8-3	
						長さ L	L/300 -50~-100				
						高さ h	-30				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
5	5	9	2		礫暗渠工 (水路併用)	基準高 ▽	±30	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		5-5-9-2	
						厚さ t ₁ , t ₂	-20				
						幅 w	-30				
						幅 w ₁ , w ₂	-50				
						高さ h ₁ , h ₂	-30				
						深 さ h ₃	-30				
						延 長 L	-200				
5	5	9	5		ボーリング暗渠工	基準高	±100	全数	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	5-5-9-5	
						長さ l	設計値以上				
						傾斜角 θ	±1度				
						方向	±2.5度				
5	5	10	3		水路工	幅 w	-100			5-5-10-3	
						深さ h	-50				
						延長 L	-200				
5	5	12			筋工	長さ L	L/50 -100~-400	全箇所		5-5-12	
						幅(厚さ)	-50				延長40m毎に1箇所の割合で測定する。40m以下の場合は2箇所とする。

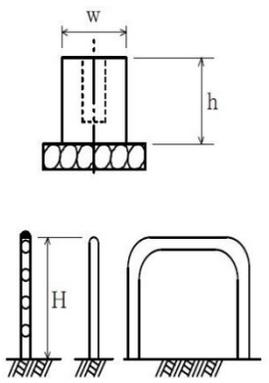
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
5	5	13			伏工	法長	$s \ell < 5m$	-200	法長の変化点毎に測定する。 面積で管理する場の規格値は、-2%とする。		5-5-13
							$s \ell \geq 5m$	-4%			
						延長	-200				
5	6	4	3		施工 (集水井工)	基準高 ▽	±50	全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。		5-6-4-3	
						偏 心 量 d	150				
						長 さ L	-100				
						巻 立 て 幅 w	-50				
						巻立て厚さ t	-30				
5	6	7			杭工	基準高 ▽	±50		5-6-7-2 5-6-7-3		
						根入長	設計値以上				
						偏心量 d	D/4以内かつ 100以内				
								$d = \sqrt{x^2 + y^2}$			
5	8	4	1		歩道作設	延長	設計値以上			5-8-4-1	
						幅員	設計値以上				

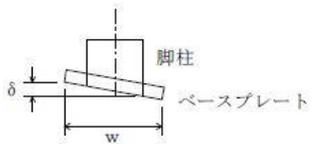
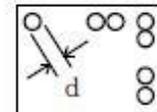
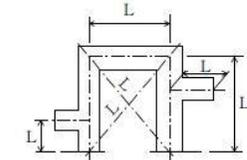
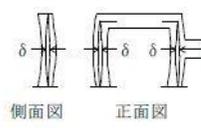
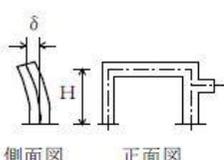
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
6 林道	1 林道	1 適用			路線・縦断	中心線	I P の位置	交角±30' コンパス等の場合±1°	全 I P 平面図の曲線表等に記入する。			
							I P の距離 (L)	L ≤ 40m ±200 L > 40m ±0.5%				
							測点間の距離	±100				全測点 横断面図等に記入する。
							中心線の寄り	±100				
						施工基面等	水準基標	±100	全箇所			施工基面高は、特に指定しない限り中心線で測定する。 
							施工基面高	±100	全測点 横断面図、縦断計算表、野帳等に記入する。			
6 林道	1 林道	5 法面工	8		柵工	延長	ℓ < 10m	-200	全箇所測定。 杭数の10%程度について測定する。ただし、杭の仕様本数は全数について確認する。 野帳等に記入する		6-1-5-8	
							ℓ ≥ 10m	-2%				
						柵高 h	-30					
						杭の使用本数	ℓ/ℓ₀+1以上					
						杭間隔 ℓ₀	+200					
						杭の末口径 D	-10%					
6 林道	1 林道	7 擁壁工	12 13		木製土留・擁壁工 土のう積工	延長 (L)	-100	断面、形状等の変化点ごとに測定する。 設計図、野帳に記入または出来形図等を作成する。ただし簡易なものも見取り図とすることができる。  	6-1-7-12 6-1-7-13			
						法勾配 (i)	-0.5分					
						法長 (ℓ) 又は高さ (h)	-100					

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
6 林道	1 林道	9 カルバート工	6		場所打函渠工	基準高 ▽	±30	寸法は、両端、継手箇所、および断面、形状等の変化点について測定する。 設計図に記入または出来形図等を策定する。		6-1-9-6	
						厚 さ t	-20				
						幅 (内法) w	-30				
						高 さ h	±30				
						延長 L	L < 20m				-50
							L ≥ 20m				-100
6 林道	1 林道	10 排水施設工	3		側溝工 (素掘り)	高さ h	-50	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 野帳に記入する。		6-1-10-3	
						幅 b	-50				
						延長 L	-0.1% 最大-200				
6 林道	1 林道	10 排水施設工	4		横断工 (開渠)	基準高	±50	1施工当たり2箇所程度測定する。 ただし、施工延長が20mを超える場合は、20m程度毎に測定する。 工場製品の寸法は、規格証明書等による。 設計図・野帳に記入または出来形図等を作成する。		6-1-10-4	
						高さ h	-20				
						幅 b	-30				
						厚さ t	-10				
						延長 L	-0.1% 最大-200				

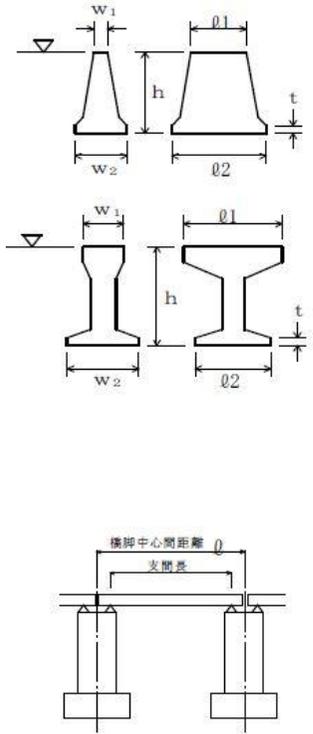
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 林道	1 林道	10 排水 施設工	5 6		コルゲートパイプ工 コルゲートフリューム工	基準高	±50	1施工箇所当たり2箇所。ただし施工延長が20mを超える場合は、20m程度毎に測定する。 工場製品の場合の寸法は、規格証明書等による。 ただし、製造元の製品の仕様により許容値が定められている場合は、当該許容値を規格値に読み替えるものとし、製造元の証明書等を添付するものとする。	 	6-1-10-5 6-1-10-6
						変形量 n	e/D±5%			
						スパン S	±2%			
						延長 ℓ	-0.1% 最大-200			
6 林道	1 林道	10 排水 施設工	7		洗越工	長さ ℓ	-200	全箇所 断面、形状等の変化点について測定する。 設計図、野帳に記入または出来高図等を作成する。	 	6-1-10-7
						幅 b	-30			
						高さ(厚さ) h、t	-50			
6 林道	1 林道	10 排水 施設工	11		流末工	長さ ℓ	-100	全箇所 設計図に記入または等に記入する。	 	6-1-10-11
						幅 b	-50			
						高さ(厚さ) h	-10			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要			
6 林道	1 林道	11 落石 雪害 防止工	4		落石防止網工	区間長 ℓ	$\ell < 10\text{m}$	-100	全箇所 ただし、ロープ間隔は変化点毎の全間 隔とする。 法長は、最上段と最下段のロープ間隔 とする。 設計図に記入または出来形図等を作成 する。		6-1-11-4		
							$\ell \geq 10\text{m}$	-1%最大-200					
						ロープ間隔 D		-100					
						法長 S ℓ		-2%					
6 林道	1 林道	11 落石 雪害 防止工	5		落石防護柵工	基準高		± 50	全箇所 厚さは、1施工箇所当たり2箇所以上とす る。 設計図に記入または出来形図等を作成 する。		6-1-11-5		
						延長	$\ell < 10\text{m}$	-50					
							$\ell \geq 10\text{m}$	-0.5%最大-100					
						高さ h		-50					
厚さ t		-200											
6 林道	1 林道	11 落石 雪害 防止工	6		防雪柵工	高さ h		± 30	施工延長40mにつき1ヶ所、施工延長 40m以下のものは1施工箇所につき2 箇所。		6-1-11-6		
						延長 L		-200				1 施工箇所毎	
						基礎	幅 w_1, w_2					-30	基礎 1 基毎
							高さ h					-30	
6 林道	1 林道	11 落石 雪害 防止工	7		雪崩予防柵工	高さ h		± 30	施工延長40mにつき1ヶ所、施工延長40 m以下のものは1 施工箇所につき2 箇 所。		6-1-11-7		
						延長 L		-200				1 施工箇所毎	
						基礎	幅 w_1, w_2					-30	基礎 1 基毎
							高さ h					-30	
						アン カー 長 ℓ	打込み ℓ					-10%	全数
							埋込み ℓ					-5%	
							ずれ a					10	
							ねじれ b-c					5	
							倒れ d					$h \times 0.5\%$	
						高さ h		+30, -20					
延長 L		-200	1 施工箇所毎										

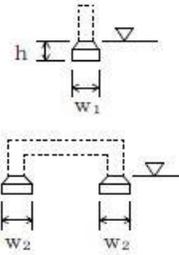
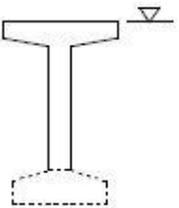
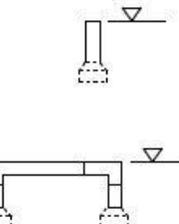
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 林道	2 舗装	6 踏掛版工	4		踏掛版工 (コンクリート工)	基 準 高	±20	1ヶ所／1踏掛版		10-2-6-4
						各 部 の 厚 さ	±20	1ヶ所／1踏掛版		
						各 部 の 長 さ	±30	1ヶ所／1踏掛版		
					(ラバーシュー)	各 部 の 長 さ	±20	全数		
						厚 さ	—			
					(アンカーボルト)	中 心 の ず れ	±20	全数		
						ア ン カ ー 長	±20	全数		
6 林道	2 舗装	7 防護施設	5		車止めポスト工	基礎幅 w	-30	単独基礎10基につき1基、10基以下のものは2基測定。測定箇所は1基につき1ヶ所測定。		6-2-7-5

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
6 林道	3 橋梁下部	3 工場製作工	3		鋼製橋脚製作工	部材	脚柱とベースプレートの鉛直度 δ (mm)	$w/500$	各脚柱、ベースプレートを測定。		6-3-3-3	
							ベースプレート	孔の位置	± 2	全数を測定。		6-3-3-3
								孔の径 d	0~5			6-3-3-3
						仮組立時	柱の中心間隔、対角長 L (m)	$\pm 5 \dots L \leq 10m$ $\pm 10 \dots 10 < L \leq 20m$ $\pm (10 + (L - 20) / 10) \dots 20m < L$	両端部及び片持ばり部を測定。		6-3-3-3	
							はりのキャンバー及び柱の曲がり δ (mm)	$L/1000$	各主構の各格点を測定。		6-3-3-3	
							柱の鉛直度 δ (mm)	$10 \dots H \leq 10$ $H \dots H > 10$	各柱及び片持ばり部を測定。 H：高さ (m)		6-3-3-3	

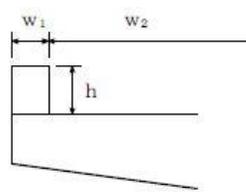
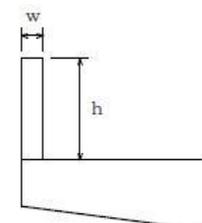
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
6 林道	3 橋梁下部	6 橋台工	8		橋台躯体工	基 準 高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		6-3-6-8	
						厚 さ t	-20				
						天 端 幅 w_1 (橋軸方向)	-10				
						天 端 幅 w_2 (橋軸方向)	-10				
						敷 幅 w_3 (橋軸方向)	-50				
						高 さ h_1	-50				
						胸壁の高さ h_2	-30				
						天 端 長 l_1	-50				
						敷 長 l_2	-50				
						胸壁間距離 l	± 30				
						支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50				
						支 承 部 ア ン カ ー ボ ルト の 箱 抜 き 規 格 値	計 画 高				+10~-20
							平 面 位 置				± 20
							ア ン カ ー ボ ルト 孔 の 鉛 直 度				1/50以下

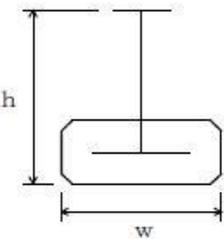
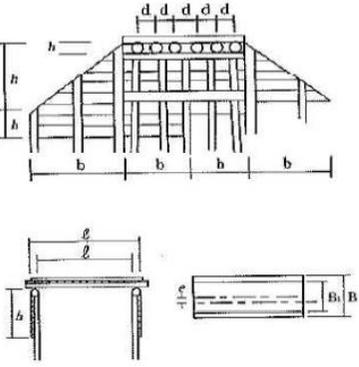
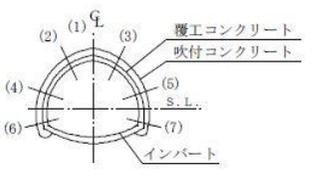
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
6 林道	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	1	橋脚躯体工 (張出式) (重力式) (半重力式)	基 準 高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 箱抜き形状の詳細については「道路橋支保便覧」による。		6-3-7-9	
						厚 さ t	-20				
						天 端 幅 w_1 (橋軸方向)	-20				
						敷 幅 w_2 (橋軸方向)	-50				
						高 さ h	-50				
						天 端 長 l_1	-50				
						敷 長 l_2	-50				
						橋脚中心間距離 l	± 30				
						支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50				
						支 承 部 ア ン カ ー ボ ル ト の 箱 抜 き 規 格 値	計 画 高				+10~-20
							平 面 位 置				± 20
							ア ン カ ー ボ ル ト 孔 の 鉛 直 度				1/50以下

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
6 林道	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	2	橋脚躯体工 (ラーメン式)	基 準 高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		6-3-7-9	
						厚 さ t	-20				
						天 端 幅 w_1	-20				
						敷 幅 w_2	-20				
						高 さ h	-50				
						長 さ l	-20				
						橋脚中心間距離 l	± 30				
						支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50				
						支 承 部 ア ン カ ー ボ ル ト の 箱 抜 き 規 格 値	計 画 高				+10~-20
							平 面 位 置				± 20
ア ン カ ー ボ ル ト 孔 の 鉛 直 度	1/50以下										
6 林道	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチング工 (I型・T型)	基 準 高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		6-3-8-9	
						幅 w (橋軸方向)	-50				
						高 さ h	-50				
						長 さ l	-50				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 林道	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	2	橋脚フーチング工 (門型)	基 準 高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		6-3-8-9
						幅 w_1, w_2	-50			
						高 さ h	-50			
6 林道	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	10	1	橋脚架設工 (I型・T型)	基 準 高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		6-3-8-10
						橋脚中心間距離 ϕ	± 30			
						支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50			
6 林道	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	10	2	橋脚架設工 (門型)	基 準 高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		6-3-8-10
						橋脚中心間距離 ϕ	± 30			
						支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50			
6 林道	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	11		現場継手工	現場継手部のすき間 $\delta 1, \delta 2$ (mm)	5 ※ ± 5	主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 ※は耐候性鋼材（裸使用）の場合		6-3-8-11

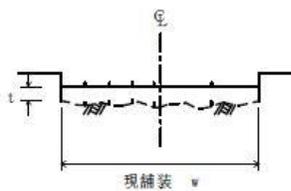
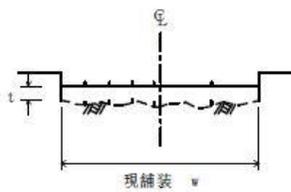
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
6 林道	4 鋼橋上部	3 工場製作工	9		橋梁用高欄製作工	部材	部材長 l (m)	$\pm 3 \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		6-4-3-9
6 林道	4 鋼橋上部	5 鋼橋架設工	10	1	支承工 (鋼製支承)	据付け高さ 注1)	± 5	支承全数を測定。 B：支承中心間隔 (m) 支承の平面寸法が300mm 以下の場合は、水平面の高低差を1mm 以下とする。 なお、支承を勾配なりに据付ける場合を除く。 注1) 先固定の場合は、支承上面で測定する。 注2) 可動支承の遊間 (La, Lb) を計測し、支承据付時のオフセット量 δ を考慮して、移動可能量が道路橋支承便覧の規格値を満たすことを確認する。 注3) 可動支承の移動量検査は、架設完了後に実施する。 詳細は、道路橋支承便覧参照。		6-4-5-10	
						可動支承の移動 可能量 注2)	設計移動量 +10以上				
						支承中心間隔 (橋軸直角方向)	コンクリート 橋				$4+0.5$ $\times (B-2)$
							± 5				
						水下 平 沓 度 の	橋軸方向				1/100
						橋軸直角方向					
可動支承の橋軸 方向のずれ 同一支承線上の 相対誤差	5										
可動支承の 移動量 注3)	温度変化に伴う移動量計算値の1/2 以上										
6 林道	4 鋼橋上部	5 鋼橋架設工	10	2	支承工 (ゴム支承)	据付け高さ 注1)	± 5	支承全数を測定。 B：支承中心間隔 (m) 上部構造部材下面とゴム支承面との接触面及びゴム支承と台座モルタルとの接触面に肌すきが無いことを確認。 支承の平面寸法が300mm 以下の場合は、水平面の高低差を1mm 以下とする。なお、支承を勾配なりに据付ける場合を除く。 注1) 先固定の場合は、支承上面で測定する。 注2) 可動支承の遊間 (La, Lb) を計測し、支承据付時のオフセット量 δ を考慮して、移動可能量が道路橋支承便覧の規格値を満たすことを確認する。 注3) 可動支承の移動量検査は、架設完了後に実施する。 詳細は、道路橋支承便覧参照。		6-4-5-10	
						可動支承の移動 可能量 注2)	設計移動量 +10以上				
						支承中心間隔 (橋軸直角方向)	コンクリート 橋				$4+0.5$ $\times (B-2)$
							± 5				
						水支 平承 度 の	橋軸方向				1/300
							橋軸直角方向				
可動支承の橋軸 方向のずれ 同一支承線上の 相対誤差	5										
可動支承の 移動量 注3)	温度変化に伴う移動量計算値の1/2 以上										

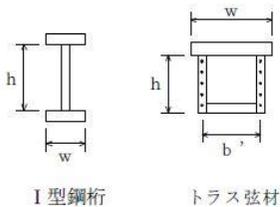
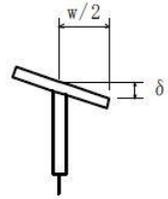
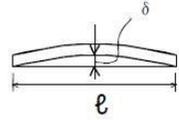
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 林道	4 鋼橋上部	8 橋梁付属物工	3		落橋防止装置工	アンカーボルト孔の 削孔長	設計値以上	全数測定 全数測定 D：アンカーボルト径（mm）		6-4-8-3
						アンカーボルト定着長	-20以内 かつ -1D以内			
6 林道	4 鋼橋上部	8 橋梁付属物工	5		地覆工	地覆の幅 w_1	-10～+20	1 径間当たり両端と中央部の3ヶ所測定。		6-4-8-5
						地覆の高さ h	-10～+20			
						有効幅員 w_2	0～+30			
6 林道	4 鋼橋上部	8 橋梁付属物工	6 7		橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工	幅 w	-5～+10	1 径間当たり両端と中央部の3ヶ所測定。		6-4-8-6 6-4-8-7
						高 さ	-20～+30			
6 林道	4 鋼橋上部	8 橋梁付属物工	8		検査路工	幅高さ	±3	1ブロックを抽出して測定。		6-4-8-8
							±4			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
6 林道	5 コンクリート橋上部	6 プレベーム桁橋工	2		プレベーム桁製作工 (現場)	幅 w	±5	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3ヶ所とする。 ℓ：スパン長		6-5-6-2	
						高さ h	10 -5				
						桁長 ℓ スパン長	ℓ < 15… ±10 ℓ ≥ 15… ±(ℓ-5)かつ -30mm以内				
						横方向最大タワミ	0.8ℓ				
6 林道	6 木造橋上部	3 木造橋上部	3		木桁	基準高	±100	全箇所 橋軸方向の断面寸法は、中央及び両端部、その他は寸法表示箇所を測定する。 設計図に記入または出来形図等を作成する。		6-6-3-3	
						橋長、支間長 ℓ	±50				
						全幅 B、全幅員 B ₁	±50				
						けた中心距離 d	±30				
						橋台土留 (橋軸直角又は斜角方向)	幅 b				-50
							高さ h				-30
						施工部材長さ	±50				けた、はり、ぬき、筋かい、高欄等 n 各部材
橋軸の偏心量 e	±10										
6 林道	7 トンネル N A T M	4 支保工	3		吹付工	吹付け厚さ	設計吹付け厚以上。ただし、良好な岩盤で施工端部、突出部等の特殊な箇所は設計吹付け厚の1/3以上を確保するものとする。	施工延長 40m 毎に図に示す。 (1)～(7)及び断面変化点の検測孔を測定。 注) 良好な岩盤とは、道路トンネル技術基準(構造編)にいう地盤等級 A または B に該当する地盤とする。		6-7-4-3	
6 林道	7 トンネル N A T M	4 支保工	4		ロックボルト工	位置間隔	-	施工延長40m毎に断面全本数検測		6-7-4-4	
						角度	-				
						削孔深さ	-				
						孔径	-				
						突出量	プレート下面 から 10cm以内				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 林道	7 トンネル N A T M	5 覆工	3		覆工コンクリート工	基準高▽ (拱頂)	±50	(1) 基準高、幅、高さは、施工40mにつき1ヶ所。 (2) 厚さ (イ) コンクリート打設前の巻立空間を1打設長の終点を図に示す各点で測定。中間部はコンクリート打設口で測定。 (ロ) コンクリート打設後、覆工コンクリートについて1打設長の端面（施工継手の位置）において、図に示す各点の巻厚測定を行う。 (ハ) 検測孔による巻厚の測定は図の (1)は40mに1ヶ所、(2)～(3)は100mに1ヶ所の割合で行う。 なお、トンネル延長が100m以下のものについては、1トンネル当たり2ヶ所以上の検測孔による測定を行う。 ただし、以下の場合には、左記の規格値は適用除外とする。 ・良好な地山における岩又は吹付コンクリートの部分的な突出で、設計覆工厚の3分の1以下のもの。 なお、変形が収束しているものに限る。 ・異常土圧による覆工厚不足で、型枠の据付け時には安定が確認されかつ別途構造的に覆工の安全が確認されている場合。 ・鋼アーチ支保工、ロックボルトの突出。		6-7-5-3
						幅 w (全幅)	-50			
						高さ h (内法)	-50			
						厚さ t	設計値以上			
						延長 L	—			
6 林道	7 トンネル N A T M	5 覆工	5		床版コンクリート工	幅 w	-50	施工延長40mにつき1ヶ所。 延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		6-7-5-5
						厚さ t	-30			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
6 林道	7 トンネル N A T M	6 イン バ ー ト 工	4		インバート本体工	幅 w (全幅)	-50	(1) 幅は、施工40mにつき1ヶ所。 (2) 厚さ (イ) コンクリート打設前の巻立空間を1打設長の間と終点を図に示す各点で測定。 (ロ) コンクリート打設後、インバートコンクリートについて1打設長の端面(施工継手の位置)において、図に示す各点の巻厚測定を行う。		6-7-6-4	
						厚 さ t	設計値以上				
						延 長 L	—				
6 林道	7 トンネル N A T M	8 坑門工	4		坑門本体工	基 準 高 ▽	±50	図面の主要寸法表示箇所にて測定		6-7-8-4	
						幅 w1, w2	-30				
						高 さ h	h < 3m				-50
							h ≥ 3m				-100
						延 長 L	-200				
6 林道	7 トンネル N A T M	8 坑門工	5		明り巻工	基準高▽ (拱頂)	±50	基準高、幅、高さ、厚さは、施工延長40mにつき1ヶ所を測定。 なお、厚さについては図に示す各点①～⑩において、厚さの測定を行う。		6-7-8-5	
						幅 w (全幅)	-50				
						高さ h (内法)	-50				
						厚 さ t	-20				
						延 長 L	—				

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)	平均の測定値 (X ₁₀)			
6 林道	8 道路維持	3 舗装工	5		切削オーバーレイ工	厚さ t	-9		厚さは20m毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長40m毎に1ヶ所の割とし、延長40m未満の場合は、2ヶ所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。		6-8-3-5
						幅 w	-25				
						延長 L	-100				
						平坦性	—	3mプロファイルメーター (σ)2.4mm以下直読式(足付き) (σ)1.75mm以下			
6 林道	8 道路維持	3 舗装工	7		路上再生工	厚さ t	-30		幅、厚さは延長40m毎に1ヶ所の割で測定。		6-8-3-7
						路盤工 幅 w	-50				
						延長 L	-100				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要
								鋼桁等	トラス・アーチ等		
6 林道	10 道路修繕	3 工場製作工	4		桁補強材製作工	フランジ幅 w (m) 腹板高 h (m) 腹板間隔 b' (m)	±2… w ≤ 0.5	主桁・主構	各支点及び各支間中央付近を測定。	 <p>I型鋼桁 トラス弦材</p>	6-10-3-4
							±3… 0.5 < w ≤ 1.0 ±4… 1.0 < w ≤ 2.0 ±(3 + w/2)… 2.0 < w				
						フランジの直角度 δ (mm)	w/200	主桁	各支点及び各支間中央付近を測定。		6-10-3-4
					圧縮材の曲がり δ (mm)	ℓ/1000	—	主要部材全数を測定。 ℓ：部材長 (mm)		6-10-3-4	